

令和5年度 事業計画書

令和5年度 事業計画書

公益財団法人札幌市芸術文化財団

令和5年度 事業計画書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

〈趣 旨〉

当財団は札幌市の指定管理者として、札幌芸術の森、本郷新記念札幌彫刻美術館、札幌コンサートホール、札幌市教育文化会館、札幌市民ギャラリー、札幌市民交流プラザの市内6施設を管理運営しております。令和5年度は、市民交流プラザを除く5施設において指定管理第5期の初年度を迎えることから、前期に引き続き、多様な施設を管理運営する総合力や高い専門性を活かして、令和4年度に策定した「札幌市芸術文化財団中期経営計画」を踏まえながら、施設間及び他分野との連携を推進し、当財団ならではの芸術文化事業の充実を図っていきます。

主な事業として、芸術の森では、「サッポロ・シティ・ジャズ」、「バレエセミナー」など、次世代の人材育成を図る事業を継続して実施します。また、芸術の森美術館では、令和5年12月から、札幌国際芸術祭の会場の一つとして、芸術ユニット・明和電機を中心とした展示を行います。

コンサートホールKitaraでは、「ライブツイヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団」など、世界的なオーケストラやソリストによる演奏会を開催するほか、新たな聴衆の開拓、子どもたちの育成事業を推進します。

教育文化会館は、令和5年1月から令和6年9月まで改修工事のため休館しますが、当財団が指定管理している他施設を活用し、Kitaraでクラシックとお囃子を楽しめるトーク付きコンサートを行うほか、札幌市民芸術祭も会場を変更して事業を実施します。

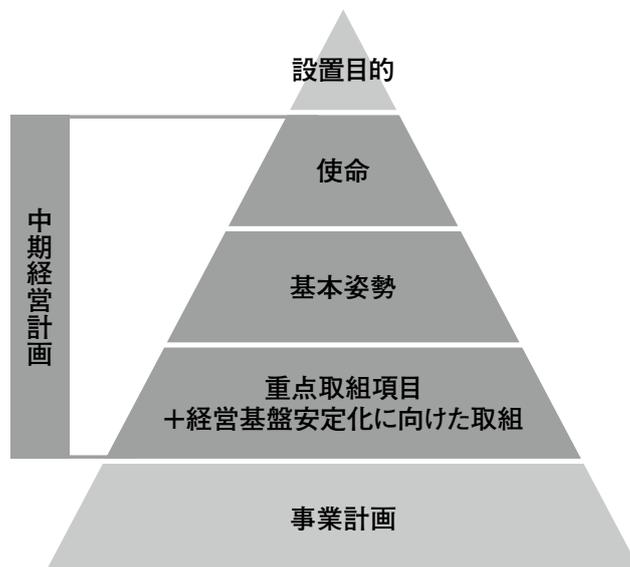
市民交流プラザでは、地元のバレエ団体や実演芸術家とともにバレエ作品を創造・発信する「hitaruバレエプロジェクト」の第一回公演を実施し、地元の文化振興を図るほか、SCARTSで札幌国際芸術祭と共催により展覧会を開催するなど、札幌市の文化施策との連携を図りつつ、芸術文化活動の拠点にふさわしい多彩な事業を展開します。

また、これまで同様、新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた安全安心な施設管理を推進していきます。

今後とも、当財団が長年築いてきた指定管理者としての実績をもとに、財団の総合力を最大限に発揮し、札幌からの新しい芸術文化の創造と発信に寄与します。

〈中期経営計画〉

令和5年度からの5年間にわたる当財団の経営方針として、中期経営計画を策定しました。社会情勢や文化芸術のあり方が大きく変化し、当財団として期待されることや果たすべき役割もまた変化している中で、職員が共通の目標を持ち、施設が連携することで、より札幌市の文化芸術振興を図り、かつ、効率的な経営の実現を目指しております。



—— 使命 ——

私たちは
札幌の芸術文化の振興を担う団体としてこれまで築いてきた
総合力とネットワークを活かし
誰もが芸術文化に触れる機会を生み出し
感動の輪を広げていくことで
人と人が心豊かにつながる未来を創造します

当財団は、札幌の文化拠点である6つの施設で、長年にわたり、企画・運営を担ってきました。これまでの運営を通じ、多彩なジャンルの芸術文化を提供できる専門性、施設間で効果的に連携できる組織力、関連団体との幅広いネットワーク等を築き上げてきました。

これらを最大限に活用し、子どもから大人、障がいのある方や外国人の方、アーティストなど、あらゆる人が芸術文化に触れ、また創作、表現できる機会を充実させることで、心はずむような体験との出会いを創出します。

このような心はずむ体験との出会いが感動となり、人々の豊かな情操や創造性あふれる人間性を育みます。そして、より多くの人々が感動に出会い、共有し、感動の輪が広がっていくことで、芸術文化をきっかけとして、人と人との交流が生まれ、多様性を認め合う活気あふれる社会の礎となります。この感動との出会いを札幌から全道・全国、また世界へと広げていくとともに、未来に向けても永続的なものができるよう次世代を担う子どもたちやアーティストをはじめとして多方面から人々の育成・支援に取り組みます。

—— 基本姿勢 ——

1 多彩な芸術文化の提供と他分野連携で都市ブランド向上に貢献

長年にわたり多彩な事業を展開し培ってきた経験や専門的な人材を有する組織力、幅広いネットワークを活かすとともに、それぞれの特性を最大限発揮してきた管理施設を相互に連携させることで、子どもから大人、障がいのある方や外国人などあらゆる人々へ、魅力的な芸術文化に触れる機会と新たな感動との出会いを提供します。加えて、芸術文化がもつ創造性を活用することで、教育や福祉、観光等との連携を強化し、都市ブランドの向上に寄与します。

2 誰もが快適に利用できる施設を運営し、人々と芸術文化をつなぐ

文化施設の運営団体として、利用者満足度やサービスの維持向上のために様々な取り組みを充実させることで、誰もが安心して快適かつ平等に芸術文化活動ができる場を提供します。また、財団が管理運営を行う多様な施設を効果的に活用し、人々と芸術文化をつなぐ拠点としての役割を最大限発揮できるよう取り組みます。

3 市民の豊かな感性の涵養によるまちづくりと人材育成

芸術文化の提供を通じ、未来を担う子どもたちをはじめ、市民一人ひとりの豊かな感性を育み、人々の交流を促進していくことで、創造的で活力あふれるまちづくりに貢献します。また、芸術文化活動を行うアーティストや団体、鑑賞者などを育成、支援するとともに、活動を支えるボランティアが活躍できる機会を創出し、札幌の芸術文化の継承、発展に寄与します。

—— 重点取組項目 ——

1 芸術文化との出会いを全ての人へ提供

(1) 社会包摂を意識した運営

これまで、ユニバーサルデザインへの取組や施設の無料開放、参加しやすい料金の設定、多言語対応等を実施し、そのノウハウを蓄積してきました。今後はさらに包摂性を念頭に置いて事業企画や施設運営に取り組み、障がいの有無、経済状況、国籍や年齢などに関わらず、全ての人が身近なものとして芸術文化の魅力に触れ、楽しむことができる機会を提供します。

(2) オンライン技術の効果的な活用

情報通信技術の急速な発展と普及に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な状況でオンライン技術の効果的な活用が求められています。引き続き、事業企画において時代の変化に対応した多様な芸術鑑賞スタイル等を模索し、また施設運営においてインターネットや通信端末等を活用した利便性の高いサービスを提供します。

2 次世代を担う人々の育成・支援

(1) 子どもたちの芸術文化活動の充実

これまで、子どもの頃から芸術文化に親しむことができる事業、また本物の芸術文化を体験することができる事業を積極的に実施してきました。今後もこれらの事業を充実させ、未来を担う子どもたちの豊かな感性や創造力、さらに多様性を認め合う心を育みます。

(2) 若手アーティスト等の活動支援

芸術文化の魅力が次世代へ継承していくためには、若手アーティスト等の活躍が必要不可欠です。長期的な視点を持ち、若手アーティスト等へ発表の場や活動の機会を提供するなど、段階に応じたチャレンジやステップアップへの支援の充実を図ります。

3 様々な「連携」を図り、当財団ならではの特色ある芸術文化事業を展開

(1) 施設間連携のさらなる強化

これまで、多様な施設を管理運営する当財団のメリットを踏まえ、各施設の特色を活かした連携事業を実施してきました。今後はこの施設間連携を充実させ、さらに魅力的な事業を展開することで、新たな感動の提供を目指します。

(2) 他分野との連携の推進

特に教育分野においては、創造性が発露しやすい芸術文化への期待度は非常に高く、積極的に連携を図ってきました。また、芸術文化がもつ創造性の活用は、教育にとどまらず、まちづくり、経済、福祉、観光等の分野においても期待されています。当財団が有する高い専門性を活かし、これらの分野との連携をより一層推し進めることで、まちの活性化と魅力向上に寄与します。

—— 経営基盤安定化に向けた取組 ——

1 人材

当財団は、札幌における芸術文化施設の運営に関して最も経験豊富な団体であり、多岐にわたる高度な専門性や企画力、高い利用者満足度を維持するための様々なノウハウを保持し、関連団体や地域と良好な関係を築いてきました。

(1) 職員の採用

こうした強みを維持向上させるために必要である意欲の高い人材の確保について、中長期的な見通しに基づき進めます。

(2) 職員の育成

実践につながる研修や研鑽の機会の一層の充実や、個性や能力等に応じた管理職からの定期的なフィードバック等により、職員一人一人の能力や意識、意欲の向上を図り、組織の持続的な発展を目指します。

2 財務

当財団の使命を遂行するためには、自己財源の安定的な確保と、収入と支出のバランスが取れた適切な経営が必要なことから、以下の取組を行います。

(1) 快適な施設利用のための設備改修と、効率的な管理運営

(2) 事業における適正な料金の検討と、幅広い事業展開による収入の確保

(3) 様々な情報媒体の活用と、あらゆる世代に向けての情報発信による利用者数の増加

(4) 協賛金や助成金等による外部資金の獲得と、効果的な資産運用

令和5年度事業一覧表

〈芸術文化の創造発信と普及振興事業〉	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
I 芸術の森事業部				
1 音楽・舞台芸術事業				
(1) 札幌の文化芸術発信事業 サッポロ・シティ・ジャズ				
①シアタージャズライブ	令和5年12月22日 ～26日			
②海外プロモーション事業	通年		○	
③ビッグバンドプロジェクト	令和5年6月 ～令和6年2月			
④企業・団体とのタイアップによる事業	通年			
⑤市民交流プラザを活用した普及プログラム	令和5年12月22日 ～26日			
(2) 次世代の文化芸術の担い手・人材育成事業				
①第24期札幌ジュニアジャズスクール	通年			
②札幌芸術の森パレエセミナー	令和5年8月7日 ～11日			
③北海道グループキャンプ	令和6年3月23日 ～26日			
(3) 文化芸術を通じた市民活動の促進				
①パークジャズライブ	令和5年7月15日 ～17日			
(4) 質の高い文化芸術の創造・提供事業				
①シアタージャズライブ(再掲)	令和5年12月22日 ～26日			
(5) 各種団体との連携による文化芸術の振興				
①各種団体共催事業	通年			
2 美術館事業				
(1) 展覧会事業				
①札幌美術展 艾沢祥子 gathering—集積する時間	令和5年4月15日 ～6月11日			
②STV創立65周年記念 チームラボ 学ぶ!未来の遊園地と、花と共に生きる動物たち	令和5年7月8日 ～9月3日			○
③深堀隆介展 水面(みなも)のゆらぎの中で	令和5年9月16日 ～11月23日			○
④札幌国際芸術祭2024	令和5年12月16日 ～令和6年3月3日			○
(2) 教育普及事業				
①佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ	} 通年			
②子どもの文化芸術体験事業「ハロー!ミュージアム」				
(3) 野外美術館における展示・普及・誘客				
①ボランティアによる作品解説	令和5年4月29日 ～11月3日			
②鑑賞アプリ、グッズの運用	通年			
(4) 人材育成事業				
①ボランティア及び美術館協力員の養成	通年			
②博物館実習生の受け入れ	令和5年10月24日 ～10月27日、30日、31日			
(5) 資料収集・保存・管理・貸与・普及事業				
①美術作品等の管理等	通年			
(6) 利用促進・普及事業				
①ミュージアムショップの運営	通年			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
3 工芸事業				
(1) 展覧会事業				
① 工芸作品展示事業「ベストポケット」	通年			
② 北海道陶芸会55周年記念展	令和5年10月21日 ～11月5日			○
③ 第29回芸術の森地区文化祭	調整中			
(2) 工芸・版画・講習会事業	} 通年			
① 工芸・版画講習会				
4 芸術の森の環境を生かした事業				
(1) 地域連携				
① 芸術の森地区連合会との連携	通年			
② 教育機関の職場体験やインターンの受け入れ	通年			
(2) 豊かな自然環境を活用した交流・体験事業				
① 四季を通じた誘客促進事業	通年			
② 野外美術館謎解きイベント	令和5年6月 ～11月3日			
③ 芸森アートマーケット	令和5年5月 ～10月 年4回			
④ わんわんフェスティバル	令和5年10月			
⑤ 芸森かんじきウォーク	令和6年1月 ～3月			
(3) 広報業務	} 通年			
① ホームページ、SNSの活用				
② 総合案内パンフレットや集客チラシの製作、配布				
③ マスコミへの情報提供、誘致活動				
5 彫刻美術館事業				
(1) 彫刻を中心とした美術に関する展覧会事業				
① New Eyes 視線のはなし／本館	令和4年12月24日 ～令和5年4月16日			
② 鈴木吾郎展 悠久を舞う／本館	令和5年4月29日 ～8月27日			○
③ 彫っていない彫刻／本館	令和5年9月16日 ～12月24日			○
④ かく語りき本郷新／本館	令和6年1月19日 ～5月26日			○
⑤ コレクション展／記念館	令和4年6月11日 ～令和5年4月16日			
⑥ コレクション展 石と木／記念館	令和5年4月29日 ～令和6年5月26日			○
⑦ さっぼろ雪像彫刻展15th／本館前庭	令和6年1月26日 ～28日			
(2) 本郷新の業績を顕彰することを目的とした事業				
① 第4回本郷新記念札幌彫刻賞 募集	令和5年3月 ～令和5年9月上旬			
② 第4回本郷新記念札幌彫刻賞 選考	令和5年9月中旬			
(3) 彫刻を中心とした美術に関する講座等				
① 学校教育への協力	通年			
② 彫美連続講座	令和5年5月27日 7月22日 11月25日			
③ 造形教室	令和5年8月、12月			
(4) その他彫刻美術館の設置目的を達成するために必要な業務				
① サンクスデー	令和5年6月25日 11月3日			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
(6)社会包摂事業 ①障がいのある方向け音楽ワークショップ ②0歳からのコンサート	令和5年9月6日 ～7日 令和5年6月3日			
(7)その他 ①演奏会付き防災訓練 ②札幌コンサートホール施設見学会 ③ゆきあかり in 中島公園	令和6年1月22日 令和5年4月 ～6年3月 令和6年2月			
3 教育・人材育成事業				
(1)エデュケーションプログラム ①〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会(再掲) ②Kitaraあ・ら・かると 1)きがるにオーケストラ(再掲) 2)スプリング・コーラスセレクション!～中学生スペシャル(再掲) 3)こどもの日のオルガンコンサート(再掲) 4)3歳からのコンサート(再掲) ③Kitaraファースト・コンサート	令和5年11月11日 令和5年5月3日 令和5年5月4日 令和5年5月5日 令和5年5月3日 ～5日 令和5年10月10日 ～13日 令和5年11月15日 ～17日			
(2)アウトリーチ事業 ①〈事業部連携事業〉市民ギャラリーポジティブオルガンコンサート ②オルガンアウトリーチ(市内小中学校)	令和5年4月5日 令和5年4月 ～令和6年3月			
(3)セミナー事業 ①オルガンセミナー 1)パイプオルガン特別講義&オルガン体験レッスン ②第26回リスト音楽院セミナー 1)講師による特別コンサート(再掲) 2)特別レクチャー&公開レッスン 3)受講生コンサート	令和5年5月 ～6月 令和6年2月20日 ～26日 令和6年2月23日 令和6年2月24日 令和6年2月25日			
(4)地元音楽大学等との連携事業 ①〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会(再掲) ②パイプオルガン特別講義&オルガン体験レッスン(再掲) ③〈第26回リスト音楽院セミナー〉特別レクチャー&公開レッスン(再掲)	令和5年11月11日 令和5年5月 ～6月 令和6年2月24日			
(5)PMF共催事業	令和5年7月			
4 全国ホールとのネットワーク事業				
(1)ホール・他都市連携事業 ①〈Kitaraアフタヌーンコンサート〉ハンブルクトリオ～夏めくドイツの風(再掲)	令和5年6月10日			○
(2)札幌コンサートホールが招へいする音楽家を広く他都市に紹介する ①専属オルガニストによる公演 1)聖徳大学送別オルガンコンサート(千葉県松戸市)	令和5年12月15日	○		○
(3)他事業部との連携事業 ①〈札幌コンサートホール・札幌市教育文化会館連携事業〉クラシックと囃子と能(仮称) ②市民ギャラリーポジティブオルガンコンサート(再掲)	令和5年11月18日 令和5年4月5日			○
(4)国内ホールとの情報交換 ①コンサートホール企画連絡会議(道外)	令和5年7月 令和6年2月	○ ○		

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
5 PR活動の充実				
(1) 広報活動 ①公演情報誌「KitaraNEWS」の発行 ②ホームページ、Twitter、Instagram、アプリなどのソーシャルメディアやテレビ、ラジオ等のマスメディアによる情報提供 ③新聞、音楽専門誌、タウン情報誌、フリーペーパー等への広告掲載 ④地下鉄駅構内電照広告の掲出(幌平橋駅) ⑤公共交通機関や通行量が多い公共空間(地下歩行空間等)への広告掲出 ⑥ホールおよび事業スポンサーの獲得 ⑦Kitaraギャラリーでのホール資料や収蔵品展示によるホールの魅力紹介 ⑧観光客の誘致、旅行・タクシー会社、ホテルとの連携強化 ⑨オリジナルグッズの販売 ⑩各種団体会員へのチケット販売(札幌市労連共済センター、札幌商工会議所 ほか) ⑪全国音楽ホール、音楽事務所、札幌市内公共施設、地下鉄主要駅、ホテル、病院、楽器店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS等の送付 ⑫チケット販売促進、広報の強化 (2) 会員制度の運営	通年			
6 チケット等販売事業				
7 Kitaraボランティアとの連携				
(1)ダイレクトメール発送活動 (2)ホール見学案内 (3)Kitaraギャラリー運営補助 (4)主催事業補助(Kitaraあ・ら・かるとリスト音楽院セミナー ほか) (5)専属オルガニストサポート(日本語レッスン、日本文化の紹介、交流等) (6)音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行	通年			
Ⅲ 教育文化会館事業部				
1 芸術文化を創造し、発信する事業				
(1)良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供 ①松竹大歌舞伎 ②能楽展示(仮称) ③札幌市教育文化会館・札幌コンサートホール連携事業「クラシックと囃子と能」(仮称) (2)札幌の舞台芸術の創造・発表事業 ①教文オペラ(アウトリーチ)	令和5年7月5日 令和5年8月3日 ~7日 令和5年11月18日 令和5年7月 ~11月			○ ○
2 芸術文化の普及振興、育成・支援を行う事業				
(1)子どもたちのための文化芸術活動の支援事業 ①小・中学生のための能楽入門 (2)市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業 ①高橋竜太コンテンポラリーダンスワークショップ (3)将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供事業 ①公立文化施設等とのネットワーク ②実演家など専門家との交流やメディアの活用 ③アンケートの実施	令和5年7月29日 ~30日 令和5年5月27日 ~28日 通年	○		
3 札幌市民芸術祭				
①札幌市民劇場 ②マンドリン音楽祭 ③ギター音楽祭 ④市民合唱祭 ⑤さっぽろ市民文芸	通年 令和5年5月21日 令和5年9月10日 令和5年10月21日 ~22日 令和5年10月下旬			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
⑥新人音楽会 ⑦邦楽演奏会 ⑧市民美術・書道展 ⑨札幌市民吹奏楽祭 ⑩市民写真展	令和5年10月28日 令和5年11月12日 令和5年12月13日 ～17日 令和6年1月20日 ～21日 令和6年2月7日 ～11日			
4 広報活動				
広報活動 ①ホームページ活用による広報 ②情報誌の編集、発行 ③メディアを通じた情報提供及び広告等 ④芸術の森、コンサートホール、市民交流プラザとの連携による広報及び販売促進	} 通年	○	○	
5 市民ギャラリー事業				
①市民ギャラリー美術映画会 ②スプリングコンサート ③市民ギャラリー手づくり作品市場 ④カルチャーナイト2023 ⑤市民ギャラリーワークショップ ⑥市民ギャラリー子ども映画会 ⑦市民ギャラリーウインターコンサート ⑧書っ!パフォーマンス ⑨高文連石狩支部美術・書道展 ⑩札幌市中学校美術・書道展 ⑪中央区東地区連合町内会コンサート ⑫札幌圏大学生合同写真展	年10回 令和5年4月5日 令和5年5月20日 令和5年7月21日 年4回 年2回 令和5年12月16日 令和6年1月11日 (予定) 令和5年8月8日 ～13日 令和5年11月14日 ～19日 令和5年12月22日 (予定) 調整中			○ ○
IV 市民交流プラザ事業部				
1 札幌文化芸術劇場に関する事業				
(1) 創造事業 ①hitaruバレエプロジェクト「くるみ割り人形」(全幕) ②hitaruオペラプロジェクト(準備) ③Creative Art Mix Vol.2～Classical Jewels～	令和5年12月9日 10日 通年 令和5年3月9日 10日			○
(2) 鑑賞事業 ①新国立劇場オペラ リヒャルト・シュトラウス「サロメ」 ②東京二期会オペラ ヴェルディ「ドン・カルロ」全5幕《新制作》 ③hitaruのひとつき ・Classic & JAZZ SPECIAL NIGHT CONCERT ・Pat Metheny Concert in Sapporo ・ひろしま神楽 ④共催事業の誘致 ・舞台「キングダム」 ・第四回さっぽろ落語まつり ・ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」 ・2023 HTB ジルベスターコンサート ・大型舞台公演(調整中)	令和5年6月11日 13日 令和5年10月7日 ～8日 令和5年7月8日 令和5年10月23日 令和5年10月29日 令和5年5月6日 ～5月11日 令和5年5月26日 ～28日 令和5年10月26日 ～27日 令和5年12月31日 令和6年3月			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
(3) 普及・育成事業 ①札幌大谷大学アートプログラム ②青少年向けバレエ鑑賞事業	調整中 令和5年9月25日			○

芸術の森事業部 令和5年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
音楽・舞台芸術事業		●(通年)海外プロモーション事業 ●(通年)企業団体とのタイアップによる事業 ●(通年)第24期札幌ジュニアジャズスクール ●(通年)各種団体共催事業	●6月-2月 ビッグバンドプロジェクト	●8/7-11 札幌芸術の森ハレセミナー ●7/15-17 パークジャズライブ						●12/22-26 シアタージャズライブ普及プログラム			
美術館事業	4/15-6/11 ●札幌美術館 沢沢祥子 gathering—集積する時間 4/29-11/3 ●野外美術館 ボランテニアによる作品解説		7/8-9/3 ●STV創立65周年記念 チームラボ 学ぶ!未来の遊園地と、花と共に生きる動物たち	9/16-11/23 ●深堀隆介展 水面(みなも)のゆらぎの中で			●10/24-27.30.31 博物館実習		12/16-3/3 ●札幌国際芸術祭2024				
工芸事業	●(通年)野外美術館 鑑賞アプリ、グッズの運用 ●(通年)佐藤忠良記念子どもアートワークショップ ●(通年)工芸作品展示事業「ベストポケット」 ●(通年)工芸版講習会事業 ●(通年)市内小学校、各種事業体、市内文化施設との連携		●(通年)ハロー！ミュージアム ●(通年)ハロー！ミュージアムコム説明会	●(通年)ハロー！ミュージアム ●(通年)ハロー！ミュージアムコム説明会			●10/21-11/5 北海道陶芸会55周年記念展 ●(調整中)第29回芸術の森地区文化祭			●(通年)ボランテニア及び美術館協力の人材育成 ●(通年)作品の保存及び管理			●(通年)資料整理
芸術の森の環境を生かした事業	●(通年)広報業務 ●(通年)芸術の森地区連合会との連携、教育機関の職場体験・インターンの受け入れ ●(通年)四季を通じて誘客促進事業	●5月-10月 芸森アートマーケット	●6月-11/3 野外美術館認知セミナー										●1月-3月 芸森かんじきウォーク
彫刻美術館事業	●~4/16 New Eyes 視線のぼなし ●~4/16 コレクション展 ●~9月上旬 札幌彫刻賞 募集	●4/29-8/27 鈴木吾郎展 悠久を舞う ●5/27 彫美連続講座 ●6/3 ナイトミュージアム ●6/25 サンクスデー ●7/22 彫美連続講座	●6/3 ナイトミュージアム ●6/25 サンクスデー ●7/22 彫美連続講座	●9月中旬 札幌彫刻賞選考			●9/16-12/24 彫ってはい彫刻			●11/3 サンクスデー ●11/25 彫美連続講座	●11/5-1/26 かく語りき本郷新	●1/26-28 さっぽろ雪像彫刻展15th	
	●(通年)ハロー！ミュージアム ●(通年)図書情報コーナー	●(通年)学校教育への協力 ●(通年)グッズ販売			●(通年)ボランテニアの受け入れ ●(随時)博物館実習生の受け入れ								

コンサートホール事業部 令和5年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽鑑賞事業												
オーケストラシリーズ												
ソリストシリーズ												23 第26回リスト音楽祭セミナー 講師による特別コンサート
室内楽シリーズ												12 〈ハンガリー〉の傑出した4人組室内楽アンサンブル、エドモント・クラリネット、ソルト・サイタル
オルガン・ピアノ・コンサート												10 オルガン・ワインダーコンサート
オルガン・ピアノ・コンサート												オルガン・CD制作
札幌オーケストラシリーズ												
地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携シリーズ												
Kitaraアフタヌーンコンサートシリーズ												
ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると												
社会包摂事業												
エデュケーションプログラム												
アウトリーチ事業 (学校DEカルチャー、他事業部等連携)												
セミナー事業												
地元音楽大学等との連携事業												
PMF共催事業												
ホール・他都市連携事業												
札幌コンサートホールが招へいする音楽家を広く他都市に紹介する												
他事業部との連携事業												
国内ホールとの情報交換												
音楽普及事業												
教育人材養成事業												
全国ホール・クラシックの事業												

教育文化会館事業部 令和5年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸術文化を創造し、発信する事業	良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供			●7/5松竹大歌舞伎	●8/3-7 能楽展示(仮称)			●11/18 札幌市教育文化会館・札幌コンサートホール・連携事業「クラシックと隣子と能」(仮称)				
	札幌の舞台芸術の創造・発表事業			●7月-11月 教文オペラ(アウトリーチ)								
芸術文化の普及・振興・育成支援を行う事業	子どもたちのための文化芸術活動の支援事業			●7/29-30 小中学生のための能楽入門								
	市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業			●5/27-28 高橋晋太コンテンポラリーダンスワークショップ								
札幌市民芸術祭	将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供事業			●公立文化施設等とのネットワーク ●実演家など専門家との交流やメディアの活用 ●アンケートの実施								
		●5/21 マンドリン音楽祭	●7/2 ギター音楽祭オーディション	●9/10 ギター音楽祭 ●9/13-14 新人音楽会オーディション	●8/13 邦楽演奏会オーディション	●10/21-22 市民合唱祭 ●11/12 邦楽演奏会 ●10/28 新人音楽会 ●10月下旬「さっぽろ市民文芸」刊行 ●11月下旬 さっぽろ市民文芸の集い	●12/13-17 市民美術・書道展	●1/20-21 札幌市民吹奏楽祭 ●2/7-11 市民写真展				
市民ギャラリー事業	●4/5 スプリングコンサート	●5/20 市民ギャラリー手づくり作品市場	●7/17 夏の子ども映画会 ●7/21 カルチャーマーケット2023 ●7/21-22 陶芸体験教室 ●7/30 夏休みおえかきワークショップ ●8/5 七宝体験教室 ●8/8-13 高文連石狩支部美術・書道展	●7/17 夏の子ども映画会 ●7/21 カルチャーマーケット2023 ●7/21-22 陶芸体験教室 ●7/30 夏休みおえかきワークショップ ●8/5 七宝体験教室 ●8/8-13 高文連石狩支部美術・書道展	●11/14-19 札幌市中学校美術・書道展	●12/16 市民ギャラリーウィンター・コンサート ●12/22 中央区東地区連合町内会コンサート ●12/24,26,27 ミニ上政会(ロビー)	●1/7 冬休みおえかきワークショップ ●1/11 書つりウォーマンス	●3/30 春休み子ども映画会				
		●市民ギャラリー美術映画会(年間10回)										

市民交流プラザ事業部 令和5年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
創造事業	●通年 hitaruオハラプロジェクト(準備)											●3/9-10 Creative Art Mix Classical Jewels
鑑賞事業		●5/6-11 舞台「キングダム」 ●5/26-28 第4回さっぽろ落語まつり	●6/11-13 新国立劇場オハラ「サロク」 ●7/8 hitaruのひととき Classic & JAZZ SPECIAL NIGHT CONCERT					●10/7-8 東京二軒会オハラ「ドン・カルロ」 ●10/26-27 ミュージカル「クレイジー・フォーユー」 ●10/23 hitaruのひととき Pat Metheny Concert in Sapporo ●10/29 hitaruのひととき ひろしま神楽	●12/9-10 hitaru/レエプロジェクト 「くるみ割の人形」			●3/9 大型舞台 公演(調整中)
普及・育成事業	●(調整中) 札幌大谷大学アートプログラム ●(調整中) シネマシリーズ7	●5/13-14 青年団「ウル市民」				●9/22-23 稲田遊泳「バナナの花は食べられる」 ●9/25 青少年向けレエ鑑賞事業		●11/25 シネマシリーズ6				
交流事業							●10/6-9 プラザフェスティバル					
舞台技術向上への取組	●通年 技術協力支援									●1/30-31 第4回札幌文化芸術劇場hitaru舞台技術セミナー		
普及・発信(にぎわい)創出事業	●(通年)SCARTSクリエイションプロジェクト(Uサーチ) ●(調整中)SCARTSメディアアーティストシリーズ ●SCARTS x CoSTEP アート&サイエンスワークショップ(仮称) ●SCARTS x SIAFラボ 冬の展覧会(仮称) ●(調整中)SCARTS連携事業 ●大学連携コンサート 札幌大谷大学 ●(通年)SCARTS/パブリックリレーションズ ●西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト ●SCARTSア ニュアルレポート					●8月 SCARTS連携事業 大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校 ●8/18-20 SCARTS連携事業 ・SAPPOROふんだんきょうふエスティバル 展示部門(仮称) ●9/13-17 SCARTS連携事業 ・NoMaps2023 ●10/6-9 SCARTS/パブリックリレーションズ プラザフェスティバル(再掲)				●1/20-2/25 SIAF2024連携事業(仮称)		
活動支援事業・調査研究事業	●(通年)SCARTSサポート事業 ●SCARTS相談サービス ●文化芸術振興助成金交付事業 ●(調整中)SCARTSサポート事業 ●SCARTSラーニングプログラム					●7月 SCARTSサポート事業 ●企画公募事業 演劇「恋の激情」学お七(原作「学お七」岸田理生)+演劇ワークショップ(仮称) ●7月 SCARTSサポート事業 ●企画公募事業 シロとメロの離れし屋 ●5月9月 SCARTSサポート事業 未来の地球で、現代を再生する-Playback machine in the future-(仮称) ●企画公募事業 悠久一本店創業百年記念「悠久の100年〜札幌とアートと家族の物語」展(仮称) ●9月 SCARTSサポート事業 ●企画公募事業 横須賀子アニメーション個展「波と風のもの」のけたち(仮称)						
広報	●(通年)広報誌作成と事業広報との連携強化 ●(通年)ホームページ、SNSなどを活用した広報 ●(通年)メディア対応とプレスリリース ●(通年)その他の広報制作物											
利用促進	●(通年)施設利用に関する営業 ●(通年)会員制度の運営 ●(通年)協賛制度の運営											

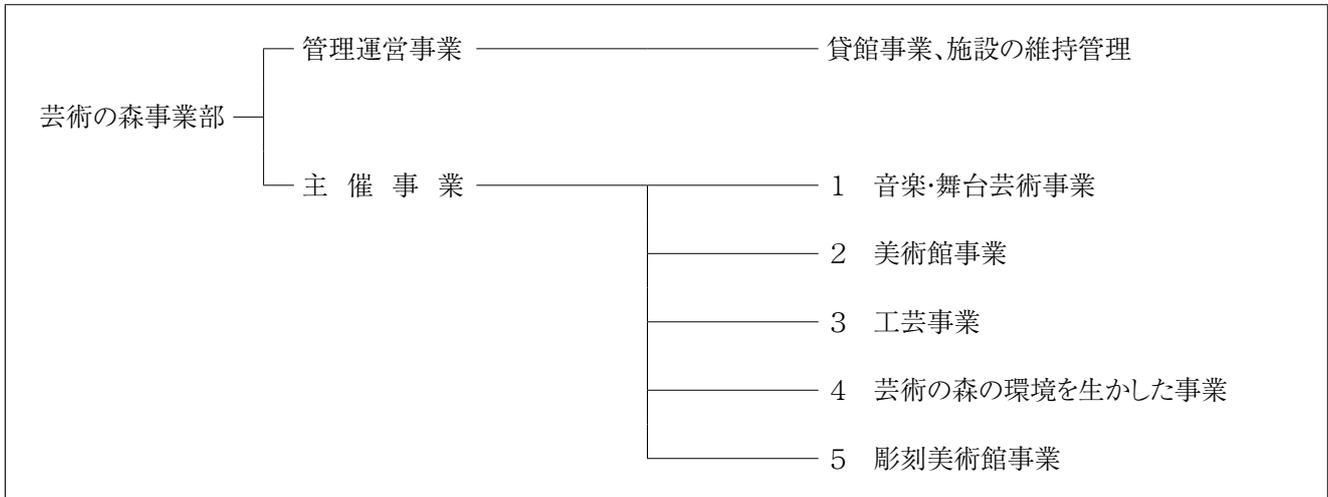
〈 詳 細 資 料 〉

1 芸術文化の創造発信と普及振興に関する事業

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

I. 芸術の森事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

		令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標	
利用状況	芸術の森	野外美術館 観覧者数	22,221人	58,000人	60,000人
		札幌芸術の森美術館 観覧者数	109,390人	133,000人	170,000人
		総入園者数	271,719人	403,000人	500,000人
	注) 各工房の講習会受講者数等は総入園者数に含まれる。				
	彫刻美術館	本館 観覧者数	7,502人	9,000人	9,000人
		記念館 観覧者数	4,344人	4,000人	5,000人
		総入館者数	11,846人	13,000人	14,000人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和3年5月18日～6月20日は芸術の森臨時休園。

令和3年5月4日～7月11日、8月31日～9月30日は彫刻美術館臨時休館。

※札幌市による「さあ!まわろうSAPPORO～見どころ施設無料化キャンペーン～」により、令和3年11月20日～12月19日は彫刻美術館記念館観覧料が無料。

※札幌市による「札幌市文化芸術鑑賞促進事業(美術館観覧料補助)」により、令和4年7月16日～11月3日は野外美術館観覧料が無料、令和4年7月16日～令和5年1月15日は札幌芸術の森美術館の展覧会観覧料が半額、令和4年6月11日～12月11日は彫刻美術館本館の展覧会観覧料が半額、記念館観覧料が無料。

3. 主催事業

1 音楽・舞台芸術事業

(1) 札幌の文化芸術発信事業 サッポロ・シティ・ジャズ

①シアタージャズライブ

hitaruの舞台空間を活用し、主舞台に客席、奥舞台にステージ、袖舞台にフードサービスを設置した特設会場でジャズライブを開催する。優れた舞台機構を活用し洗練されたライブ空間を創出し、食事と音楽をともに楽しむことのできる札幌独自のスタイルとして発信する。

期 日：令和5年12月22日(金)～12月26日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会(札幌市、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団) ほか)

②海外プロモーション事業

気鋭の若手ミュージシャン支援を目的に、パークジャズライブコンテスト優勝者を海外ジャズフェスティバルに派遣する。派遣先でのシティジャズの宣伝、シティプロモーションを行い、ジャズの街札幌を広く世界にPRする。

期 日：通年

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会(札幌市、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団) ほか)

③ビッグバンドプロジェクト

地元のプロミュージシャンにより編成するビッグバンド「札幌ジャズアンビシャス」が音楽監督デビッド・マシューズとともにジャズ事業のPRとジャズ音楽の普及を目的とし、演奏会や道内各地のジャズスクールでのワークショップなどの活動を行う。

期 日：令和5年6月～令和6年2月

会 場：アートホール ほか

④企業・団体とのタイアップによる事業

シティジャズのブランドを活用してホテル、観光施設、商業施設などとタイアップライブやイベントを開催する。出演者には地元ミュージシャンを活用し、各企業イベントの魅力を高めながら、地域づくりに貢献する。

期 日：通年

会 場：市内各所 ほか

⑤市民交流プラザを活用した普及プログラム

市民交流プラザのクリエイティブスタジオを活用し、ジャズ初心者や身体の不自由な方も楽しめるユニバーサルジャズライブを開催するほか、図書・情報館とのタイアップによるジャズライブラリー企画などを展開する。

期 日：令和5年12月22日(金)～12月26日(火)

会 場：札幌市民交流プラザ クリエイティブスタジオ ほか

(2) 次世代の文化芸術の担い手・人材育成事業

①第24期札幌ジュニアジャズスクール

ジャズ音楽を通じた子どもたちの豊かな情操の育成を目的に、平成12年度より継続実施する事業の24年目。毎週末に定期練習を行い、定期演奏会をはじめ、地域イベント等で演奏活動を行う。道内他地域のジャズスクールとの合同合宿・演奏会などを連携して開催する。

期 日：通年

会 場：アートホール ほか

②札幌芸術の森バレエセミナー

次世代のバレエダンサーの育成を目的として、世界水準のセミナーを開催する。パリ・オペラ座バレエ団教師・パリ国立高等コンセルバトワール教授のジル・イブアールを主任講師に迎え、一流の講師陣による充実したカリキュラムを揃え、全国から受講者を募集して行う。

期 日：令和5年8月7日(月)～11日(金・祝)

会 場：アートホール

③北海道グループキャンプ

アメリカ・ボストンのバークリー音楽大学よりタイガー大越をはじめとする現役教授陣を招聘し、同校の教育メソッドを受講できるセミナーを全国から受講者を募集して行う。

セミナーを通し優秀と認められる受講者には、「バークリー賞」として、翌年バークリー音楽大学で開催されるサマーセミナーに奨学生として参加できる権利を授与する。

期 日：令和6年3月23日(土)～26日(火)

会 場：アートホール ほか

(3)文化芸術を通じた市民活動の促進

①パークジャズライブ

市民自らが演奏者やイベント運営スタッフとして参加し、つくりあげる音楽イベント。文化芸術を通じた市民活動の促進と市民文化の醸成を目的として実施する。市内約10会場で約200組が2日間にわたり無料ライブを繰り広げる。全国から公募した実力バンドによるコンテストも開催する。

期 日：令和5年7月15日(土)～17日(月・祝)

※ボランティア「ジャズセーバーズ」事業は通年

会 場：大通公園2丁目、札幌駅前通地下歩行空間、創成東地区 ほか

(4)質の高い文化芸術の創造・提供事業

①シアタージャズライブ(再掲)

シティジャズの独自のスタイルとして、劇場の特設会場で国内外のトップアーティストによるライブを開催する。
(再掲)

期 日：令和5年12月22日(金)～26日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会(札幌市、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団) ほか)

(5)各種団体との連携による文化芸術の振興

①各種団体共催事業

芸術の森の施設を活用した芸術文化団体との共催事業、また市内各所を会場とする他団体とのタイアップ事業を開催する。運営ノウハウを活かし、芸術文化の振興を図るとともに、芸術文化による街づくりを促進する。

期 日：通年

会 場：野外ステージ ほか

2 美術館事業

(1)展覧会事業

①札幌美術展 艾沢詳子 gathering—集積する時間

札幌市を拠点に活動する版画家・艾沢詳子(1949-)の個展。初期の具象的な銅版画から、転機となったインスタレーション作品、アートとテクノロジーが融合する新作まで約80点を展示する。

期 日：令和5年4月15日(土)～6月11日(日)56日間

会 場：札幌芸術の森美術館

②STV創立65周年記念 チームラボ 学ぶ! 未来の遊園地と、花と共に生きる動物たち

新規

アーティスト、プログラマー、建築家など様々な分野のスペシャリストで構成されているアート集団、チームラボ。本展では共同的な創造性「共創」をコンセプトにした教育的プロジェクト〈チームラボ 学ぶ! 未来の遊園地〉を中心に、インタラクティブなメディア・アート作品を展示する。

期 日：令和5年7月8日(土)～9月3日(日)58日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：札幌テレビ放送、チームラボキッズ

③深堀隆介展 水面(みなも)のゆらぎの中で

新規

独自の技法「2.5Dペインティング」により、真に迫るリアルな金魚を描き続けてきた美術作家・深堀隆介(1973-)の個展。本展では金魚をモチーフとする以前の作品から「金魚酒」シリーズなどの代表作、新作インスタレーションまでを紹介し、描くこと、リアルであることに対する作家の姿勢に迫る。

期 日：令和5年9月16日(土)～11月23日(木・祝)66日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：北海道新聞社、北海道文化放送

④札幌国際芸術祭2024

新規

3年に一度、札幌で世界の最新アート作品に出合える特別なアートイベント。「LAST SNOW」をテーマに、未来の地球、社会、コミュニティ、生活のための変革と創造に焦点を当てる。

芸術の森会場では、メディアアートの楽しさや面白さを感じてもらうことを趣旨に、アートやプロダクトの制作、パフォーマンスを縦横無尽に展開してきた芸術ユニット「明和電機」を中心に展示を展開する。

期 日：令和5年12月16日(土)～令和6年3月3日(日)63日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：札幌国際芸術祭実行委員会

(2)教育普及事業

①佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ

子どもの造形教育に尽力した佐藤忠良の精神を受け、様々なワークショップを開催。また、アーティストを講師に招くワークショップや、予約なしで気軽に体験できるプログラム及び制作キットの販売を行う。

期 日：通年

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

②子どもの文化芸術体験事業「ハロー!ミュージアム」

札幌市内の小学校、義務教育学校及び特別支援学校小学部の5年生を学校単位で札幌芸術の森(札幌芸術の森美術館、野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ)、もしくは本郷新記念札幌彫刻美術館に招待し、芸術作品の鑑賞、それを踏まえた表現活動に取り組む機会を学校に提供する。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館、野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ、本郷新記念札幌彫刻美術館

(3)野外美術館における展示・普及・誘客

①ボランティアによる作品解説

研修を積んだボランティアスタッフによる作品解説を毎日行う。定時解説のほか、事前に申し込みのあった団体やグループには希望や所要時間等に合わせたコース組みも行う。

期 日：令和5年4月29日(土・祝)～11月3日(金・祝)

②鑑賞アプリ、グッズの運用

スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」での作品解説の配信(無料)及び問いかけに答えながら鑑賞を深める「彫刻鑑賞ノート」、作品をかたどったシールをマップ上に貼って楽しむ「野外美術館シールマップ」の販売などを通じ、作品鑑賞により親しむための取り組みを行う。

期 日：通年

(4)人材育成事業

①ボランティア及び美術館協力員の養成

多様な美術館活動を補佐する人材確保のため、野外作品解説ボランティア及び美術館協力員(資料整理部・教育サービス部)を養成する。

期 日：通年

②博物館実習生の受け入れ

美術館学芸員を志す大学生を対象に6日間にわたる博物館実習(館園実習)を実施。

期 日：令和5年10月24日(火)～27日(金)、30日(月)、31日(火)

会 場：札幌芸術の森美術館

(5)資料収集・保存・管理・貸与・普及事業

①美術作品等の管理等

美術館における収蔵作品や書籍等の二次資料の保存・整理及びデータベース管理を行う。

※野外美術館の作品も含む

期 日：通年

(6)利用促進・普及事業

①ミュージアムショップの運営

オリジナルグッズ、展覧会関連グッズ、図録等を販売するほか、地域作家の作品販売を通じて作家の活動を紹介する。また、図録などオリジナル商品のオンライン販売も行い、美術の普及振興を図る。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館

3 工芸事業

(1)展覧会事業

①工芸作品展示事業「ベストポケット」

市民が良質なクラフト作品に出会い、購入できる場の創造を目的に開催。北海道内で活動するクラフト作家を中心に作品を展示・販売。特定の作家や作品ジャンルなどに焦点を当てた企画展示なども行い、クラフト作品の魅力を発信する。また、並行してインターネット上での作品紹介と販売も行う。(3回の展示入替を予定。)

期 日：通年

会 場：工芸館展示ホール

②北海道陶芸会55周年記念展

新規

北海道のプロ陶芸家による「北海道陶芸会」(1968年設立)が55周年を迎えることを記念し、工芸館展示ホールで展覧会を開催する。

期 日：令和5年10月21日(土)～11月5日(日)

会 場：工芸館展示ホール

主 催：北海道陶芸会、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)

③第29回芸術の森地区文化祭

札幌市南区芸術の森地区連合町内会による文化事業。芸術の森地区まちづくりセンターと連携し、工芸館を会場に絵画、写真、書道、工芸等、地域の方々の創作活動の発表の場となる展覧会を開催する。

期 日：令和5年11月上旬の開催で調整中

会 場：芸術の森センター・アートロビー、レクチャー室

主 催：芸術の森地区連合会、芸術の森地区文化祭実行委員会（芸術の森地区まちづくりセンター、札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）ほか）

(2)工芸・版画講習会事業

①工芸・版画講習会

各分野において工芸と版画の制作者の拡大に繋がる技術の取得や向上を目指し、市民向けの講習会を通年で開催する。各講習会の対象者を明確にし参加者の制作意欲を高めるとともに、生活に新たな発見や潤いを得る機会を提供する。

●一般講習会

陶芸・木工・テキスタイル・七宝・ガラス・金工および版画の、子どもから大人向け講習会を行う。

●グループ講習会

修学旅行やPTA、町内会などの団体を対象に、2時間程度でクラフト作品の制作を体験する講習会を通年開催する。

【陶芸】たまづくり・カップ制作コース、ひもづくり・カップ制作コース、板作り・皿制作コース、絵付・小皿コース

【テキスタイル】絞り染め・バンダナコース

【七宝】多色盛り・リーフペンダントコース

●ふらっとクラフト体験

事前予約不要の気軽なクラフト体験を実施（器に絵付けをしてみよう、たまづくりで器をつくろう、和紙のちぎり絵はがき、お絵かきバンダナ）。

●ワークショップ、アウトリーチ

市内文化施設やクラフト関連イベントと連携し、街中でのクラフトを中心とした入門ワークショップ、アウトリーチを開催することで、工芸の知識や技法に興味を持ちクラフト工房での制作体験への契機とする。

期 日：通年

会 場：市内小学校、各種事業体、市内文化施設、商業施設等

●クラフトキット

手づくりキット「おうちdeクラフト」を制作し、自宅や遠隔地でのクラフト体験機会を提供する。

期 日：通年

場 所：クラフト工房受付、オンライン販売

4 芸術の森の環境を生かした事業

(1) 地域連携

① 芸術の森地区連合会との連携

芸術の森地区文化祭をはじめとする芸術の森地区連合会が主催する地域イベントと地域の活動拠点として、一年を通じ連携開催する。

期 日：通年

行 事：芸術の森フラワーロード	令和5年5月
オリエンテーリングin芸術の森	令和5年11月
芸術の森地区文化祭	令和5年11月
雪あかりの祭典	令和6年2月

② 教育機関の職場体験やインターンの受け入れ

近隣の教育機関からの職場体験やインターンシップの受け入れを行う。

期 日：通年

(2) 豊かな自然環境を活用した交流・体験事業

① 四季を通じた誘客促進事業

芸術の森の来園者数を増加させることを目的として、野外美術館オープンや開園記念日等、四季折々にイベントを開催する。なお、秋季はNo Maps実行委員会、あしたのしあたあとのタイアップにより音楽・映像を内容とする「あしたのげいもり」として、また、冬季は芸術の森地区雪あかりの祭典実行委員会、芸術の森地区連合会との共催により「雪あかりの祭典」として開催する。

期 日：通年

イベント：スプリングフェスタ	令和5年5月
芸森バースデー	令和5年7月
あしたのげいもり	令和5年9月
雪あかりの祭典	令和6年2月

② 野外美術館謎解きイベント(通年)

野外美術館を周遊しながら気軽に楽しんでいただくことを目的として、難易度を複数設け、子どもから大人まで楽しむことができるゲーム性に富んだ謎解きイベントを開催する。

期 日：令和5年6月～11月3日(金・祝)

会 場：野外美術館

③ 芸森アートマーケット(通年)

市民アーティスト相互の交流や発表の機会の創出、また芸術の森の賑わいの創出を目的として手づくり作品によるマーケットを開催する。園内誘客イベントにあわせて開催し、集客における相乗効果を図る。

期 日：令和5年5月・7月・9月・10月(年4回)

会 場：美術館前広場、工芸館前広場ほか

④ Wan Wan フェスティバル

芸術の森園内の利用促進として、愛犬と飼い主と一緒に参加でき、犬の運動会や野外美術館の彫刻作品と一緒に巡る「Wan Wan フェスティバル」を開催する。

期 日：令和5年10月

会 場：美術館前広場、野外美術館ほか

⑤ 芸森かんじきウォーク

野外美術館の冬季の利用促進として、雪のなかの彫刻作品を散策しながら鑑賞できる「かんじきウォーク」を開催する。

期 日：令和6年1月上旬～3月上旬

会 場：野外美術館

(3) 広報業務

① ホームページ、SNSの活用

札幌芸術の森で行う展覧会や講習会等の事業、貸工房をはじめとする各施設などの情報について、ホームページやフェイスブック、インスタグラムなどSNSを活用し、積極的に情報を発信することによりPRを行うとともに、利用者の利便性向上に努める。

② 総合案内パンフレットや集客チラシの製作、配布

来園者を対象に広い園内をわかりやすく紹介する総合案内パンフレットを作成し配布することで、サービス向上を図りつつ、来園目的以外の施設へも足を運び園内を周遊してもらえよう促す。市内小学校の全児童に年2回、夏・冬休みのイベントをまとめた子ども向け情報紙「もりくる」を配布する等PRを行う。

③ マスコミへの情報提供、誘致活動

芸術の森の情報を掲載した「今週の芸森。」をマスコミや関係各所にインターネット等で毎週配信し、各事業でのマスコミへの働きかけとあわせ、メディアで記事として取り上げてもらうよう積極的にPRに努める。

また、旅行会社やコンベンションビューローと連携し、MICE事業、インバウンドツアーの誘致、修学旅行の誘致を図る。

5 彫刻美術館事業（本郷新記念札幌彫刻美術館）

展覧会及び関連事業の開催を通じて、彫刻芸術を中心とした美術の普及、振興を図る。

(1) 彫刻を中心とした美術に関する展覧会事業

① New Eyes 視線のはなし

[前年度より継続の事業]

若手作家の育成を願った本郷新の想いを受け2012年より開催しているシリーズ展。北海道、札幌を拠点に活動する美術家を中心に、我々をとりまく世界を見つめる作家たちの新鮮な視点を紹介する。

期 日：令和4年12月24日(土)～令和5年4月16日(日)93日間(内、令和5年度14日間)

会 場：本館

② 鈴木吾郎展 悠久を舞う

新規

軽やかに浮遊する女性像をテラコッタ(焼成粘土)によって表現し続けてきた鈴木吾郎の作歴60年記念展。テラコッタ制作に長きに渡って向き合い、熟練の域に到達した鈴木吾郎ならではの彫刻作品やデッサン、また、数多く手がけた野外彫刻に関する資料もあわせて紹介する。

期 日：令和5年4月29日(土・祝)～8月27日(日)104日間

会 場：本館

③ 彫っていない彫刻

新規

硬い素材を彫り刻むことを示す「彫刻」作品であるが、広義には盛る、貼る、付けるなどの技法による造形、さらには造形物によって支配された空間そのものや、立体視による映像作品も含まれる。意外性の高い技法や素材による立体作品を通して、彫刻芸術の可能性と今後の展開を探る。

期 日：令和5年9月16日(土)～12月24日(日)86日間

会 場：本館

④かく語りき本郷新

新規

本郷新は数多くの芸術論、作品論、自伝などを遺しており、当館では、これらをボランティアの手を借りながら長年に渡って整理し、データ化作業を行ってきた。本展では、集積されたそれらアーカイブ資料を公開しつつ、言論の側面から本郷新の彫刻に対する思念を浮き彫りにする。

期 日：令和6年1月19日(金)～5月26日(日)101日間(うち令和5年度は53日間)

会 場：本館

⑤コレクション展

[前年度より継続の事業]

本郷新の没後40年、美術館開館40年を経て、改めて、今、戦後日本を代表する屈指の社会派スカルプターの偉業と足跡を数々の代表作と詳細な鑑賞補助揭示物を通じて解き明かした。

期 日：令和4年6月11日(土)～令和5年4月16日(日)257日間(うち令和5年度は14日間)

会 場：記念館

⑥コレクション展 石と木

新規

札幌・大通公園《泉》の像や戦没学生記念碑《わたつみのこえ》など塑造作品に代表作が多い本郷新だが、石彫や木彫など不可逆性の要素が色濃いカーヴィング作品も手がけている。本展では、ひととき進取性に富んだ表現を見せる館蔵のそれら全部を展示・公開する。

期 日：令和5年4月29日(土・祝)～令和6年5月26日(日)291日間(うち令和5年度は243日間)

会 場：記念館

⑦さっぽろ雪像彫刻展15th

他とは一線を画するアーティスティックな雪像展。札幌を中心に活動する彫刻家や木工家、造形作家、美術を学ぶ学生たちが雪の特性を生かしつつ独創性に満ちた雪像彫刻を制作し、3日間限りで展示・公開する。

期 日：令和6年1月26日(金)～28日(日)3日間

会 場：本館前庭

主 催：さっぽろ雪像彫刻展実行委員会、本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)

(2) 本郷新の業績を顕彰することを目的とした事業

①第4回本郷新記念札幌彫刻賞 募集

本郷新の功績を記念するとともに、若手作家の育成を願った本郷の遺志を受け、50歳未満の若い彫刻家を対象に、優れた彫刻作品を募集し賞を贈る事業。受賞作は公共空間に約3年間設置、当館を会場に応募模型展と受賞作家の個展を開催する。本年は募集、選考の年となる。

期 日：令和5年3月～令和5年9月上旬募集

②第4回本郷新記念札幌彫刻賞 選考

応募があった模型から受賞作品を選定する。なお、第3回まで行っていた書類選考及び「入選作品」の選定は、委員との協議の結果省くこととした。

期 日：令和5年9月中旬選考

(3) 彫刻を中心とした美術に関する講座等

①学校教育への協力

小学校における総合的な学習の時間や社会科等の授業、中学校における職場体験、大学での調査・研究など学校教育への協力をを行う。

期 日：通年

②彫美連続講座

彫刻芸術への興味・関心を喚起し、理解を深めてもらうことを目的に、研究者や実作者を講師に招いた講座を全3回開講する。

期 日：令和5年5月27日(土)、7月22日(土)、11月25日(土)

会 場：札幌市民交流プラザSCARTS

③造形教室

創作の楽しみを味わってもらうことを目的に、大人を対象とした「おとな造形教室」、小学生を主な対象とした「子ども造形教室」を実施。デッサンや造形等の楽しさを学ぶ機会をつくる。

期 日：令和5年8月、12月

(4) その他彫刻美術館の設置目的を達成するために必要な業務

①サンクスデー

開館記念日(6/29)に近い日曜日と文化の日(11/3)を無料開館とし、各種イベントを実施して、幅広い層の来館者の利用促進を図る。

期 日：令和5年6月25日(日)、11月3日(金・祝)

②ナイト・ミュージアム

夜間開館を行い、利用の幅を広げる機会を創出することによって、さらなる博物館利用を促す。

期 日：令和5年6月3日(土)

③図書・情報コーナー

本郷新および彫刻美術館に関する図書や北海道内に設置された野外彫刻の写真資料を公開し、来館者の閲覧に供する。

期 日：通年

④広報活動

展覧会等の事業の情報のほか、本郷新に関する情報を積極的に発信する。Twitter、Facebook、Instagram等のSNSを活用するとともに、町内会や近隣小学校等への事業チラシ配布や、町内会だよりの活用により、地域住民への情報提供に努める。

⑤ボランティアの受け入れ

学校、団体、個人等のボランティア活動の受け入れ、対応を行う。また、企業の社会奉仕活動の機会と場を提供する。

期 日：通年

⑥博物館実習生の受け入れ

学芸員資格取得希望の大学4年生を対象とした博物館実習(館園実習)生の受け入れ、指導を行う。

期 日：随時

⑦地域・企業との連携

展覧会、ミュージアムコンサート、サンクスデー等の事業において、地域や地元企業と広報や施設利用、人材提供等の面で連携を行う。

期 日：随時

⑧グッズ販売

所蔵作品のポストカード、過去に開催した展覧会の図録、受託商品等を販売する。

期 日：通年

(5)補助金交付の対象となる自主事業

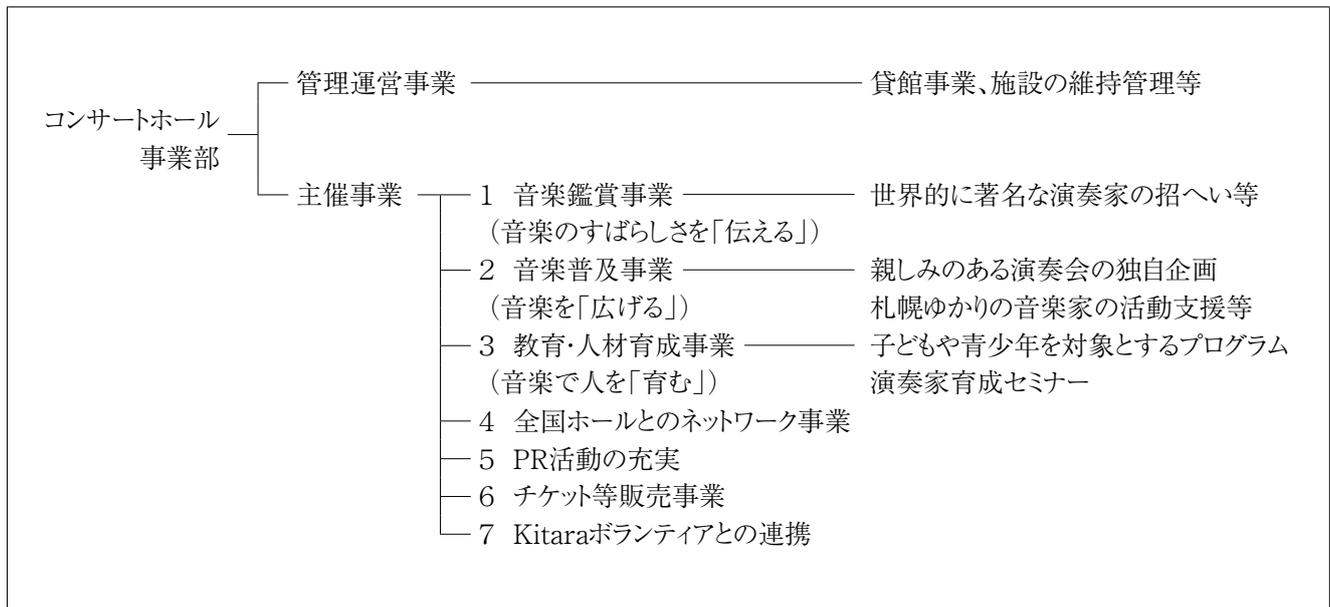
①子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

子どもたちにすぐれた芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むことを目的に、札幌市の小学校5年生を美術館に招待する事業。学校は、対話による作品鑑賞とワークシートを組み合わせた「彫美・鑑賞コース」と粘土による造形(ひもづくり)に重きを置いた「彫美・表現コース」のいずれかを選択。

期 日：通年

Ⅱ. コンサートホール事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

利用 状 況			令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
	大ホール	利用率	78.7%	81.8%	86.0%
	小ホール	利用率	61.3%	72.3%	76.0%
	総入場者数		135,470人	253,000人	375,000人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和3年7月1日～7月11日は原則貸出休止、令和3年8月2日～9月30日は新規予約受付停止。

※新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年7月29日～8月1日は臨時休館。

※特定天井および設備機器等の改修工事のため、令和2年11月2日～令和3年6月30日は休館。

【参考】

令和元年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：56.5% 小ホール(500席未満)：57.3%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和2年度公立文化施設の運営情報調査報告」)

3. 主催事業

1 音楽鑑賞事業

音楽専用ホールならではの優れた音響特性を活かし、市民のニーズの高い、海外・日本のトップクラスのオーケストラ、ソリスト、室内楽等による公演を企画し実施する。あわせて、全国のホールと連携し、魅力的な鑑賞事業の創造に取り組む。

(1) オーケストラシリーズ

大ホールの音響特性を活かし、〈Kitaraワールドオーケストラシリーズ〉として、世界的に著名なオーケストラの演奏の鑑賞機会を広く市民に提供する。

① 内田光子 with マーラー・チェンバー・オーケストラ

新規

ベルリンに本拠を置き、世界20か国以上から集まった第一級の音楽家で構成するマーラー・チェンバー・オーケストラと、世界で活躍するピアニスト 内田光子を招へいする。

期 日：令和5年10月29日(日)

会 場：大ホール

出 演：内田光子(ピアノ・指揮)

マーラー・チェンバー・オーケストラ(管弦楽)

② アンドリス・ネルソンス指揮 ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団

新規

世界最古の名門オーケストラであるライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団と、同楽団の楽長(カペルマイスター)を務め、若手指揮者として注目を集めるアンドリス・ネルソンスを招へいする。

期 日：令和5年11月25日(土)

会 場：大ホール

出 演：アンドリス・ネルソンス(指揮)

ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団(管弦楽)

(2) ソリストシリーズ

器楽、声楽等の各分野の著名な演奏者(ソリスト)を招へいし、〈Kitaraワールドソリストシリーズ〉として名演奏を広く市民に紹介する。

① 〈Kitaraのバースデイ〉オリヴィエ・ラトリー オルガンリサイタル

新規

パリ・ノートルダム大聖堂の正オルガニストを務めるとともに、歴代Kitara専属オルガニストの師としてパリ国立高等音楽院でも教鞭を執る世界屈指のオルガニスト オリヴィエ・ラトリーのリサイタルを開催する。

期 日：令和5年7月1日(土)

会 場：大ホール

出 演：オリヴィエ・ラトリー(オルガン)

② エマニュエル・パユ & アレッシオ・バックス デュオリサイタル

新規

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者で、世界的に人気の高いエマニュエル・パユと、国際的なコンクールでの優勝も多いイタリアのピアニスト アレッシオ・バックスのデュオリサイタルを開催する。

期 日：令和5年9月29日(金)

会 場：小ホール

出 演：エマニュエル・パユ(フルート)

アレッシオ・バックス(ピアノ)

③ジャン・ロンドー チェンバロリサイタル

新規

2012年、ブルージュ国際古楽コンクールで優勝し、令和元年度の主催公演でも人気を博したチェンバロ演奏の最前線に立つフランス出身のジャン・ロンドーを招へいする。

期 日：令和5年10月31日(火)

会 場：小ホール

出 演：ジャン・ロンドー(チェンバロ)

④第26回リスト音楽院セミナー 講師による特別コンサート

リスト音楽院セミナーの講師による特別コンサートを実施する。

期 日：令和6年2月23日(金・祝)

会 場：小ホール

出 演：リスト音楽院セミナー講師

⑤アンヌ・ケフェレック ピアノリサイタル

新規

ミュンヘン国際音楽コンクールで優勝し、著名な指揮者やオーケストラとの共演でも長年活躍するフランスのピアニスト アンヌ・ケフェレックを招へいする。

期 日：令和6年3月9日(土)

会 場：小ホール

出 演：アンヌ・ケフェレック(ピアノ)

(3)室内楽シリーズ

室内楽で著名な演奏家を招へいし、小ホールの音響特性を活かした公演を実施する。室内楽の多彩な魅力を広く市民に紹介する。

①カルテット・アマービレ

新規

2016年ミュンヘン国際音楽コンクール第3位をはじめ、国内外のコンクールで優勝するなど今後の活躍が期待される若手実力派弦楽四重奏団のカルテット・アマービレを招へいする。

期 日：令和5年8月27日(日)

会 場：小ホール

出 演：カルテット・アマービレ

篠原悠那(ヴァイオリン)

北田千尋(ヴァイオリン)

中恵菜(ヴィオラ)

笹沼樹(チェロ)

②〈ハンガリーの俊英たちⅣ〉ジョンボル・ダーニエル・エセニ クラリネットリサイタル

ハンガリー 音楽院との連携により、ハンガリーのすぐれた若手アーティストを紹介するプロジェクトの第4弾。ハンガリーを拠点に活動するクラリネット奏者 ジョンボル・ダーニエル・エセニを独自招へいする。

期 日：令和6年2月12日(月・休)

会 場：小ホール

出 演：ジョンボル・ダーニエル・エセニ(クラリネット)

2 音楽普及事業

道内唯一のプロオーケストラ札幌交響楽団、専属オルガニスト、地元の演奏家との協力により、市民が気軽に楽しめるコンサートや事業を実施し、音楽の普及を図る。

(1)オルガン事業

国内最大級のパイプオルガンと専属オルガニスト制度を活用し、さまざまな企画のコンサートを行う。

①オルガンワンコインコンサート

ワンコイン(500円)で気軽に楽しめるオルガンコンサート

1)オルガンサマーナイトコンサート

オルガンで初夏の夜を彩るコンサートを行う。

期 日：令和5年6月8日(木)

会 場：大ホール

出 演：三浦はつみ

2)オルガンウィンターコンサート ジューンブライド～大切なひとと～

雪まつりの時期にあわせ、気軽に来場できるオルガン名曲コンサートを開催する。

期 日：令和6年2月10日(土)

会 場：大ホール

出 演：第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト

②オルガンコンサートシリーズ

1)〈Kitaraあ・ら・かると〉こどもの日のオルガンコンサート

初心者にも親しみやすいオルガンコンサートを行う。5歳から入場可。

期 日：令和5年5月5日(金・祝)

会 場：大ホール

出 演：山口綾規(オルガン)

古屋瞳(司会)

2)〈Kitaraのバースデイ〉オリヴィエ・ラトリー オルガンリサイタル(再掲)

3)第23代札幌コンサートホール専属オルガニスト ヤニス・デュボワ フェアウェルオルガンリサイタル

第23代札幌コンサートホール専属オルガニスト、ヤニス・デュボワの1年間の任期の締めくくりとなるさよなら公演を実施する。

期 日：令和5年8月19日(土)

会 場：大ホール

出 演：ヤニス・デュボワ(第23代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

4)第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト デビューリサイタル

令和5年9月に着任予定の第24代札幌コンサートホール専属オルガニストのデビューコンサートを実施する。

期 日：令和5年9月30日(土)

会 場：大ホール

出 演：第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト

5) クリスマスオルガンコンサート

パイプオルガンと地元高校生の合唱によるクリスマスにちなんだ楽曲のコンサートを開催する。ミュンヘン・クリスマス市と協力し相互PRも行う。

期 日：令和5年12月24日(日)

会 場：大ホール

出 演：第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト
大木秀一(指揮)
市立札幌旭丘高等学校合唱部
札幌山の手高等学校合唱部

6) オルガンCD制作

第24代札幌コンサートホール専属オルガニストによる大ホールのパイプオルガンの演奏を録音。広くオルガン音楽を紹介するとともに、オルガンやオルガニストのPRとして活用する。

(2) 札幌オーケストラシリーズ

クリスマスコンサートやファミリー向けコンサートなどの事業を開催し、音楽の普及、振興を図る。

①〈Kitaraあ・ら・かると〉きがるにオーケストラ

国内外で人気を博す気鋭の指揮者 鈴木優人を迎え、魔法をテーマに声楽やオルガン、チェンバロ演奏等多彩なプログラムで幅広い年代に楽しんでもらえるコンサートを開催する。新型コロナウイルス感染症による令和2年度からの延期公演。

期 日：令和5年5月3日(水・祝)

会 場：大ホール

出 演：鈴木優人(指揮・チェンバロ・お話)
中江早希(ソプラノ)
吉村怜子(オルガン)
札幌交響楽団(管弦楽)
札幌日本大学高等学校吹奏楽部 金管セクション(共演)

②Kitaraのクリスマス～道義のラストクリスマス～

演出を凝らした独創的なプログラムで聴衆を魅了する指揮者 井上道義と東京バレエ団プリンシパル 上野水香との共演による、華やかなクリスマスコンサートを開催する。

期 日：令和5年12月23日(土)

会 場：大ホール

出 演：井上道義(指揮)
上野水香(ダンス)
札幌交響楽団(管弦楽)

③Kitaraのニューイヤー

日本とアメリカを中心に活躍する若手指揮者 原田慶太楼とミュージカル女優、歌手として活躍するシルビア・グラブとの共演で、シュトラウスのワルツ、ポルカのほか、二人が得意とするミュージカル、映画音楽などで豪華なニューイヤーコンサートを開催する。

期 日：令和6年1月13日(土)

会 場：大ホール

出 演：原田慶太楼(指揮)
シルビア・グラブ(ヴォーカル)
札幌交響楽団(管弦楽)

(3) 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携シリーズ

札幌市内で活動する演奏家、作曲家、音楽団体とともに、札幌独自の音楽公演事業を行う。魅力的な企画により、地元演奏家のさらなるレベルアップと聴衆づくりを目指す。

①〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会

札幌で活動する若手演奏家によるコンサートを開催。北海道教育大学、札幌大谷大学の各校から推薦された在校生・卒業生を広く市民に紹介する。

期 日：令和5年11月11日(土)

会 場：小ホール

出 演：北海道教育大学、札幌大谷大学から推薦された在校生、卒業生

②令和5年度Kitaraアーティスト・サポートプログラムI、II

市内音楽家から創意工夫に富む意欲的な企画を公募し、会場費補助と広報の支援を行う。

期 日：令和6年1月24日(水)、3月12日(火)

会 場：小ホール

出 演：札幌で活躍する音楽家(個人、団体)

③〈Kitara&札幌音楽家協議会連携プロジェクト〉札幌の音彩(ねいろ)I

新規

札幌出身、もしくは札幌で活躍する音楽団体 札幌音楽家協議会会員による室内オーケストラと合唱の公演。「春」と「北海道にゆかりのある作曲家」をテーマとし、室内オーケストラをはじめ、ピアノや声楽、アンサンブルなどバラエティに富んだプログラムを実施する。

期 日：令和6年3月16日(土)

会 場：小ホール

出 演：阿部博光、大嶋恵人(指揮)

札幌音楽家協議会合唱団、札幌音楽家協議会室内オーケストラ

(4) Kitaraアフタヌーンコンサートシリーズ

昼間の時間帯に、気軽に楽しめるコンサートとして行ってきた「Kitaraランチタイムコンサート」を拡大し、60～90分の内容で、初めてクラシック音楽に触れるお客様にも、Kitaraファンにもお楽しみいただける「Kitaraアフタヌーンコンサート」を引き続き開催する。

①ハンブルクトリオ～夏めくドイツの風

新規

ドイツを拠点に活動するピアノトリオ ハンブルクトリオを紹介する。福岡などの公立ホールと連携し日本各地で公演する予定。新型コロナウイルス感染症による令和2年度からの延期公演。

期 日：令和5年6月10日(土)

会 場：小ホール

出 演：ハンブルクトリオ

塩貝みつる(ヴァイオリン)

ウルリッヒ・ホルン(チェロ)

エバーハルト・ハーゼンフラッツ(ピアノ)

②女流義太夫の至芸～竹本駒之助&鶴澤津賀寿

新規

札幌では馴染みの少ない女流義太夫についてのお話とプログラムの解説を交え、人間国宝の竹本駒之助(浄瑠璃)、鶴澤津賀寿(三味線)による日本の最高技術を持った女流義太夫の語りと三味線の演奏を紹介する。

期 日：令和5年8月11日(金・祝)

会 場：小ホール

出 演：竹本駒之助(浄瑠璃)
鶴澤津賀寿(三味線)
竹本京之助(お話)

③ハンサムなバリトンが彩る秋のひととき

新規

バリトン歌手としてオペラを中心に幅広い活躍をする宮本益光の楽しいトークとオペラの名曲を集めたコンサートを開催する。

期 日：令和5年9月17日(日)

会 場：小ホール

出 演：宮本益光(バリトン)
加藤昌則(ピアノ)

(5)ホール開放事業 Kitaraあ・ら・かると

札幌コンサートホールの各施設を使い、3日間にわたり演奏会や見学会、楽器づくりなどを企画するゴールデンウィークの音楽祭。クラシック音楽の普及と鑑賞者の増加を目的とした音楽普及事業。地元音楽家も多く出演する。

期 日：令和5年5月3日(水・祝)～5日(金・祝)

会 場：札幌コンサートホール全館

主な公演:

①きがるにオーケストラ(再掲)

②スプリング・コーラスセレクション!～中学生スペシャル

Kitaraあ・ら・かるとのプログラムのひとつとして、市内中学校合唱部による合同演奏会を行う。

期 日：令和5年5月4日(木・祝)

会 場：大ホール

出 演：市内中学校合唱部
吉村怜子(オルガン)

③こどもの日のオルガンコンサート(再掲)

④3歳からのコンサート

3歳から入場できるミニコンサート。一般財団法人地域創造登録アーティストを中心に招へいし、親子で楽しめる親しみやすいプログラムを企画する。

期 日：令和5年5月3日(水・祝)～5日(金・祝)

会 場：小ホール

出 演：中須美喜(ソプラノ)、森岡有裕子(フルート)、新野将之(パーカッション) ほか

(6) 社会包摂事業

①障がいのある方向け音楽ワークショップ

文化芸術施設に来館する機会が少ない障がいのある方達に向けた音楽ワークショップを実施する。令和4年度からの継続事業で、令和5年度は新たに聴覚障がいを持つ児童を対象としたワークショップを実施する。

期 日：令和5年9月6日(水)、7日(木)

会 場：大ホール

出 演：音楽ワークショップ・アーティスト おとみつく(演奏・お話)

②0歳からのコンサート

普段Kitaraでのコンサートを聴く機会のない層へのPRとして、子どもたちを対象にしたワークショップやコンサートを全国各地で行っているピアニスト 田村緑を中心に、0歳の赤ちゃんから鑑賞することができるコンサートを行う。

期 日：令和5年6月3日(土)

会 場：大ホール

出 演：田村緑(ピアノ)

神谷未穂(ヴァイオリン)

山下絵恋(フルート)

喜名雅(テューバ・絵本朗読)

齋藤綾乃(打楽器)

吉村怜子(オルガン)

(7) その他

①演奏会付き防災訓練

より安全なホール運営を行うため、市民に来場者として参加していただく防災訓練を実施する。

期 日：令和6年1月22日(月)

協 力：札幌市消防音楽隊

②札幌コンサートホール施設見学会

コンサートホールのPR及びKitaraファン拡大のため施設見学会を実施する。また、普段立ち入ることのできないステージ裏や楽屋などをKitaraボランティアと一緒に紹介する。

期 日：令和5年4月～令和6年3月 2～3回

③ゆきあかり in 中島公園

さっぽろ雪まつり期間中に、中島公園を中心とした地域の風物詩を作り上げることを目的として、「ゆきあかり in 中島公園」に参画し、施設のPR等を行う。

期 日：令和6年2月

会 場：中島公園及び周辺

主 催：ゆきあかり in 中島公園実行委員会

札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団)、公益財団法人札幌市公園緑化協会、豊水地区
連合町内会 ほか

3 教育・人材育成事業

音楽の力で子どもや青少年の感性を育むエデュケーションプログラムを実施するとともに、ホールの機能を生かし、世界トップレベルの音楽セミナーやオルガンセミナーの開催により演奏家や指導者の育成に努める。

(1) エデュケーションプログラム

①〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会(再掲)

②Kitaraあ・ら・かると

- 1) きがるにオーケストラ(再掲)
- 2) スプリング・コーラスセレクション! ~中学生スペシャル(再掲)
- 3) こどもの日のオルガンコンサート(再掲)
- 4) 3歳からのコンサート(再掲)

③Kitaraファースト・コンサート

20年目を迎える札幌市補助事業。教育委員会と連携し、札幌市内の全小学6年生約15,000人に、近郊11市町村の小学6年生(5,000人)を加えて実施する。より多くの子どもたちがホールでコンサートを楽しめる機会を提供する。

期 日：令和5年10月10日(火)、11日(水)、12日(木)、13日(金)、11月15日(水)、16日(木)、17日(金)

会 場：大ホール

出 演：マティアス・バーメルト、川瀬賢太郎(指揮)

札幌交響楽団(管弦楽)

第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト(オルガン)

古屋瞳(司会)

(2) アウトリーチ事業

①〈事業部連携事業〉市民ギャラリーポジティブオルガンコンサート

札幌市民ギャラリーと連携し、地元オルガニストによるポジティブオルガンのお話つきアウトリーチコンサートを開催する。

期 日：令和5年4月5日(水)

会 場：札幌市民ギャラリー

出 演：吉村怜子

②オルガンアウトリーチ(市内小中学校)

専属オルガニストや地元オルガニストが、移動可能なポジティブオルガンとともに市内小学校等へ赴き、オルガン音楽の魅力を紹介するお出かけコンサート。市内小学校へのアウトリーチは、札幌市「学校DEカルチャー」の一環として開催。

期 日：令和5年4月~令和6年3月(調整中)

会 場：札幌市内小学校・夜間中学校 計3校程度

出 演：第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト

吉村怜子

(3) セミナー事業

世界的音楽教育機関や音楽祭、地元音楽大学等と連携し、講習会や演奏会を開催する。

①オルガンセミナー

パイプオルガンを活用し、指導者と次世代の演奏家育成のためのセミナーや講習会事業を企画する。

1)パイプオルガン特別講義&体験レッスン

地元音楽大学の学生を主な対象としたパイプオルガンについての特別講義とオルガン体験レッスンを実施。一般参加可。

期 日：講義 令和5年5月(調整中)

体験レッスン 令和5年6月(調整中)

会 場：大ホール、大リハーサル室

講 師：吉村怜子

②第26回リスト音楽院セミナー

世界的音楽教育機関であるリスト音楽院より教授を招へいしレッスンと演奏会を行う。

期 日：令和6年2月20日(火)～26日(月)

会 場：小ホール、各リハーサル室

主 催：札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団)

リスト音楽院セミナー実行委員会(音楽大学教授 ほか)

協 力：株式会社ヤマハミュージックリテイリング 札幌店

後 援：駐日ハンガリー大使館、リスト・ハンガリー文化センター、株式会社河合楽器製作所 北海道支店、
日本ハンガリー友好協会

講 師：ガーボル・ファルカシュ、バラージュ・レーティ(ピアノ)

マイクロ・シュ・ペレーニ(チェロ)

1)講師による特別コンサート(再掲)

2)特別レクチャー&公開レッスン

セミナーで招へいしたリスト音楽院教授によるレクチャーと北海道教育大学、札幌大谷大学学生への公開レッスンをあわせて行う。

期 日：令和6年2月24日(土)

会 場：小ホール

受講生：北海道教育大学学生、札幌大谷大学学生

講 師：リスト音楽院セミナー講師

3)受講生コンサート

セミナー受講生の中から選ばれた優秀者によるコンサートを実施する。最優秀受講生を選考し、翌年以降、ハンガリーで開催される大規模な音楽祭に派遣する。

期 日：令和6年2月25日(日)

会 場：小ホール

出 演：第25回リスト音楽院セミナー最優秀受講生(ゲスト)

第26回リスト音楽院セミナー優秀受講生6～8名

(4) 地元音楽大学等との連携事業

音楽学科を設置している地元大学と連携し、未来の音楽家を目指す学生の活動を支援し広く市民に紹介する。

- ①〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会(再掲)
- ②パイプオルガン特別講義&体験レッスン(再掲)
- ③〈第26回リスト音楽院セミナー〉 特別レクチャー&公開レッスン(再掲)

(5) PMF共催事業

世界の若手音楽家を育てるパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)の趣旨に賛同し、共催事業を行う。

期 日：令和5年7月

4 全国ホールとのネットワーク事業

(1) ホール・他都市連携事業

- ①〈Kitaraアフタヌーンコンサート〉ハンブルクトリオ～夏めくドイツの風(再掲)

(2) 札幌コンサートホールが招へいする音楽家を広く他都市に紹介する

- ①専属オルガニストによる公演

1) 聖徳大学 送別オルガンコンサート

新規

期 日：令和5年12月15日(金)

会 場：聖徳大学川並香順記念講堂(松戸市)

主 催：聖徳大学、聖徳大学短期大学部 ほか

出 演：第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト

(3) 他事業部との連携事業

- ①〈札幌コンサートホール・札幌市教育文化会館連携事業〉クラシックと囃子と能(仮称)

新規

札幌コンサートホールを会場として、札幌市教育文化会館と連携し、クラシック(弦楽四重奏)と古典芸能(お囃子、能)を楽しめるトーク付きの公演を行い、それぞれの施設のファンを取り込み、新しい客層を開拓することを目的に実施する。

期 日：令和5年11月18日(土)

会 場：小ホール

出 演：森村暁子(プロデューサー)

囃子方

齊藤敦(笛、森田流笛方)

上田敦史(小鼓、大倉流小鼓方・重要無形文化財総合指定保持者)

守屋由訓(大鼓、観世流大鼓方・重要無形文化財総合指定保持者)

中田弘美(太鼓、金春流太鼓方・重要無形文化財総合指定保持者)

梅若基徳(シテ、観世流シテ方・重要無形文化財総合指定保持者)

梅若雄一郎(後見、観世流シテ方)

弦楽四重奏

Les pomme²弦楽四重奏

山本聖子(ヴァイオリン)

瀧本志保(ヴァイオリン)

後藤美和子(ヴィオラ)

藤田淳子(チェロ)

- ②〈事業部連携事業〉市民ギャラリーポジティブオルガンコンサート(再掲)

(4) 国内ホールと広く情報交換を行う。また、共同で音楽家の招へいや公演制作を行う。

①コンサートホール企画連絡会議(道外)

参加館:すみだトリフォニーホール、京都コンサートホール、アクロス福岡、所沢ミュージズ、新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)、札幌コンサートホール

期 日: 令和5年7月、令和6年2月

5 PR活動の充実

(1) 広報活動

札幌コンサートホールを広く周知するため、様々な媒体により積極的な活動を行う。

- ①公演情報誌「KitaraNEWS」の発行
- ②ホームページ、Twitter、Instagram、アプリなどのソーシャルメディアやテレビ、ラジオ等のマスメディアによる情報提供
- ③音楽専門誌、タウン情報誌、フリーペーパー等への広告掲載
- ④地下鉄駅構内電照広告の掲出
- ⑤公共交通機関や通行量が多い公共空間(地下歩行空間等)への広告掲出
- ⑥ホールスポンサーの獲得
- ⑦Kitaraギャラリーでのホール資料や収蔵品展示によるホールの魅力紹介
- ⑧観光客の誘致、旅行・タクシー会社、ホテルとの連携強化
- ⑨オリジナルグッズの販売
- ⑩各種団体会員へのチケット販売(札幌市労連共済センター、札幌商工会議所 ほか)
- ⑪全国音楽ホール、音楽事務所、札幌市内公共施設、地下鉄主要駅、ホテル、病院、楽器店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS等の送付
- ⑫チケット販売促進、広報の強化

(2) 会員制度の運営

札幌コンサートホールの会員制度である「KitaraClub(有料)」と「Kitaraアプリ会員(無料)」を運営する。会員には主催事業や施設に関する情報を随時発信し、札幌コンサートホールの魅力をより分かりやすくお届けする。併せて、主催事業のチケット先行販売や割引等の特典提供を行い、チケットの販売促進に努める。

各会員の特徴や特典を広くPRすることで会員数の増加を図り、クラシックファンならびに札幌コンサートホールのファン育成に努める。

6 チケット等販売事業

札幌コンサートホールで行われるチケットの対面販売、電話予約販売のほか、インターネット販売を行い、購入しやすい環境を整える。

7 Kitaraボランティアとの連携

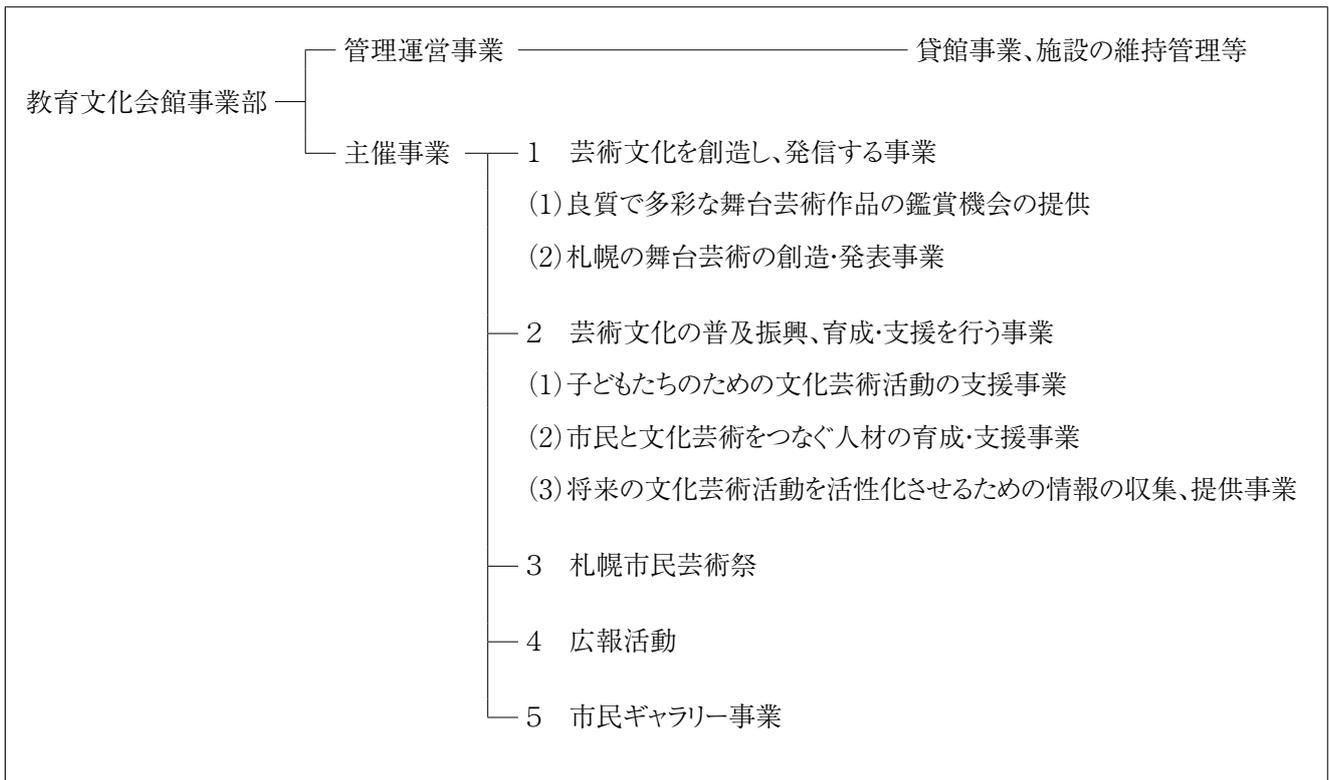
札幌コンサートホールの支援組織である「Kitaraボランティア」との連携により主催事業等の充実を図る。

人数: 85名(令和4年12月現在)

- (1)ダイレクトメール発送活動
- (2)ホール見学案内
- (3)Kitaraギャラリー運営補助
- (4)主催事業補助(kitaraあ・ら・かると、リスト音楽院セミナー ほか)
- (5)専属オルガニストサポート(日本語レッスン、日本文化の紹介、交流等)
- (6)音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行

Ⅲ. 教育文化会館事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

			令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
利用状況	札幌市教育文化会館	大ホール	利用率 54.6%	73.7%	—
		小ホール	利用率 62.5%	81.3%	—
		総入場者数	198,699人	265,542人	—
	札幌市民ギャラリー	展示室(第1～第5展示室)	利用率 72.8%	83.7%	85.0%
		総入場者数	81,822人	75,000人	135,000人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和3年5月3日～7月11日、令和3年8月2日～10月5日は新規予約受付停止。

※札幌市民ギャラリーは特定天井等改修工事のため、令和4年11月1日～令和5年3月13日休館。

※札幌市教育文化会館は大規模改修工事のため、令和5年1月1日～令和6年9月30日休館。

【参考】

令和元年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：56.5% 小ホール(500席未満)：57.3%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和2年度公立文化施設の運営情報調査報告」)

3. 主催事業

1 芸術文化を創造し、発信する事業

(1) 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供

先進的な舞台芸術作品、次世代へ伝えてゆくべき伝統芸能の両面から、質の高い舞台芸術作品を上演する。また、伝統芸能への理解を深めるための展示を実施するなど鑑賞者の拡大を図る。

① 松竹大歌舞伎

伝統芸能の歌舞伎の普及を目的として、(公社)全国公立文化施設協会が企画し、市民に人気の高い歌舞伎の全国巡回公演を実施する。

期 日：令和5年7月5日(水)2回公演

会 場：札幌市民交流プラザ 札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：公益社団法人全国公立文化施設協会、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、株式会社道新文化事業社

演 目：未定

出 演：未定

② 能楽展示(仮称)

新規

能楽振興の一環として、能面や扇、装束などの展示のほか、札幌市図書・情報館と連携し、能楽についての書籍の展示を行う。また、体験型のコーナーを設置するなど、幅広い層の興味・関心を惹くような能楽展示を開催する。

期 日：令和5年8月3日(木)～7日(月)

会 場：札幌市民交流プラザ SCARTSコート、SCARTSスタジオ

③ 札幌市教育文化会館・札幌コンサートホール連携事業

「クラシックと囃子と能」(仮称)

新規

札幌コンサートホールを会場として、クラシック音楽(弦楽四重奏)と、日本の古典芸能(お囃子、能)を楽しむトーク付きの公演を行うことで、それぞれの施設のファンを取り込み、新しい客層を開拓することを目的に実施する。

期 日：令和5年11月18日(土)

会 場：札幌コンサートホールKitara 小ホール

出 演：森村暁子(プロデューサー)

囃子方

齊藤敦(笛、森田流笛方)

上田敦史(小鼓、大倉流小鼓方・重要無形文化財総合指定保持者)

守屋由訓(大鼓、観世流大鼓方・重要無形文化財総合指定保持者)

中田弘美(太鼓、金春流太鼓方・重要無形文化財総合指定保持者)

梅若基徳(シテ、観世流シテ方・重要無形文化財総合指定保持者)

梅若雄一郎(後見、観世流シテ方)

弦楽四重奏

山本聖子(ヴァイオリン)

瀧本志保(ヴァイオリン)

後藤美和子(ヴィオラ)

藤田淳子(チェロ)

(2) 札幌の舞台芸術の創造・発表事業

札幌独自の舞台芸術作品の創造や、地元の舞台芸術創作活動を普及するための事業を行う。

① 教文オペラ(アウトリーチ)

市内オペラ団体等と協力し、小学生を対象としたお届けコンサートを開催し、オペラの普及振興を図る。

期 日：令和5年7月～11月(予定)

会 場：市内小学校

2 芸術文化の普及振興、育成・支援を行う事業

(1) 子どもたちのための文化芸術活動の支援事業

若年層を対象に、舞台芸術との出会いとなるワークショップを開催する。現場に関わるスタッフからの指導を通して舞台芸術の制作を行うことで、将来の舞台芸術の表現者・愛好者を育成する。

① 小・中学生のための能楽入門

小・中学生向けに能楽体験ワークショップを行い、若年層への伝統芸能の理解と普及につなげる。

期 日：令和5年7月29日(土)、30日(日)

会 場：札幌市民交流プラザ 研修室

講 師：能楽師 小倉健太郎(シテ方宝生流)

協 力：札幌宝生会

(2) 市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業

市民を対象としたワークショップとその成果発表を通して、参加者の新しい創造活動と出会いの場を提供する。

① 高橋竜太コンテンポラリーダンスワークショップ

ダンスの魅力を伝え、理解を深める機会の提供を目的とし開催する。引き続き振付家、ダンサーの高橋竜太を招き、ワークショップを実施する。

期 日：令和5年5月27日(土)、28日(日)

会 場：札幌市民交流プラザ クリエイティブスタジオ

講 師：高橋竜太(振付家、ダンサー)ほか

(3) 将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供事業

① 公立文化施設等とのネットワーク

- 公立文化施設との情報の交換、収集を行い、事業に反映させる。
- 一般財団法人地域創造、文化庁等を通して情報収集を行う。
- 札幌市内9劇場による「札幌劇場連絡会」間での情報交換を行い、札幌市が主催する「札幌アーツステージ」の舞台芸術部門に参加する。

② 実演家など専門家との交流やメディアの活用

- 主催事業を通して長年培われた芸術文化団体、アーティストなどとの交流により、各分野の情報を収集し、事業企画に反映させる。
- 地元マスコミも含め、メディアを通して最新情報の収集に努め、国内外の実情を把握する。

③ アンケートの実施

主催事業の参加者、来場者に対しアンケートを実施し、催しに対する満足度を調査するとともにニーズを把握し、企画に反映させる。

3 札幌市民芸術祭

音楽、演劇、舞踊、美術、文芸など幅広い分野における市民の芸術文化の創造・発表活動を積極的に推進し、札幌市の文化芸術活動の振興を図ることを目的に、年間10事業を実施する。優れた作品発表に対して札幌市民芸術祭大賞、札幌市民芸術祭奨励賞を贈呈。札幌市長が委嘱する市内の芸術・文化関係者約120名により実行委員会と10部会を構成し、教育文化会館事業部に事務局を置く。

主 催：札幌市民芸術祭実行委員会、札幌市、札幌市芸術文化財団

①札幌市民劇場

札幌を拠点に、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能などの舞台芸術活動を行う個人または団体の公演やワークショップ事業の企画を公募し、「札幌市民劇場」として年間を通し開催する。企画採用団体には、助成金の交付や広報協力などを行い、市民の舞台芸術活動を支援する。

期 日：通年

会 場：札幌市内各劇場・ホール等

②マンドリン音楽祭

札幌市内で活動するマンドリン団体が一堂に会し、活動の成果を披露する演奏会を開催する。独奏・重奏の部、学生団体合同合奏の部、学生団体と社会人団体合同合奏の部の3部構成でプログラムを展開する。開演前のプレコンサート等も行い、マンドリンの魅力を広く市民に紹介する。

期 日：令和5年5月21日(日)

会 場：札幌コンサートホールKitara 大ホール

③ギター音楽祭

オーディションにより選抜されたクラシックギター奏者が競演する演奏会を開催する。独奏、重奏、合奏の各部門で、小学生から一般まで幅広い市民が参加する。来場者の関心を高めるため、ゲストによる演奏や開演前のプレコンサートを併せて行う。

期 日：オーディション 令和5年7月2日(日)

演奏会 令和5年9月10日(日)

会 場：札幌コンサートホールKitara 小ホール

④市民合唱祭

市内で活動する合唱団やコーラスグループが集う合唱祭を2日間にわたり開催する。参加団体の発表と研鑽の場として相互交流を深めるとともに、市民の合唱活動の一層の向上を図る。

期 日：第2部(PTAその他) 令和5年10月21日(土)

第1部(一般・職場・大学・高校) 令和5年10月22日(日)

会 場：札幌コンサートホールKitara 大ホール

⑤さっぽろ市民文芸

随筆、小説、詩、評論、短歌、俳句、川柳、児童文学、戯曲・脚本の9部門で市民の文芸作品を募集し、優秀な作品を掲載した総合文芸誌「さっぽろ市民文芸」を刊行する。優秀作品の表彰や記念講演のほか、作品選考委員と参加者が交流を深める「さっぽろ市民文芸の集い」を開催する。

期 日：「さっぽろ市民文芸」第40号刊行 令和5年10月下旬

さっぽろ市民文芸の集い 令和5年11月下旬

会 場：未定

⑥新人音楽会

札幌市を中心に音楽活動を行い、活躍が期待される若手のクラシック音楽家を対象に、ピアノ、声楽、管弦打楽器、作曲の各部門で審査を行い、選抜者による演奏会を開催する。

期 日：オーディション 令和5年 9月 13日(水)、14日(木)2日間

演奏会 令和5年10月 28日(土)

会 場：札幌コンサートホールKitara 大ホール

⑦邦楽演奏会

札幌市を中心に活動する邦楽演奏家による三曲(箏、三絃、尺八)の独奏並びに合奏の演奏会を開催する。出演者はオーディションにより決定する。

期 日：オーディション 令和5年 8月13日(日)

演奏会 令和5年11月12日(日)

会 場：札幌コンサートホールKitara 小ホール

⑧市民美術・書道展

市民による美術(油彩画、水彩画、日本画、版画、パステル画、その他)と書道(漢字、かな、近代詩文書、墨象、篆刻、刻字)の作品を募集し展示する。会期最終日には、表彰式と審査員による作品講評会を実施し、市民の美術・書道への理解を深める。

期 日：令和5年12月13日(水)～17日(日)5日間

会 場：札幌市民ギャラリー 各展示室

⑨札幌市民吹奏楽祭

札幌地区吹奏楽連盟に加盟する小学校、中学校、高校、大学、職場・一般の吹奏楽団体が活動の成果を披露する演奏会を開催し、吹奏楽の多彩な魅力を広く紹介する。

期 日：令和6年1月20日(土)、21日(日)2日間

会 場：札幌コンサートホールKitara 大ホール

⑩市民写真展

市民による写真作品を公募し、写真の多様な表現を紹介する展覧会を開催する。会期最終日には、表彰式と審査員による作品講評会を実施し、市民の写真への理解を深める。

期 日：令和6年2月7日(水)～11日(日・祝)5日間

会 場：札幌市民ギャラリー 展示ホール1・2

4 広報活動

①ホームページ活用による広報

ホームページを活用して、施設利用、主催事業に関する情報提供を行う。紙媒体の情報誌と連動するなど内容を工夫するとともに、施設の仮予約、事業参加申し込みや、各種問い合わせに対応するなど、Webによるサービス向上を図る。

②情報誌の編集、発行

「人と芸術と社会をつなぐ」をコンセプトに、地域と人をクローズアップした情報誌を編集するとともに、舞台芸術及び関連分野における内容を特集する情報誌も発行する。

③メディアを通じた情報提供及び広告等

新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネット媒体など様々なメディアへの情報提供を行い、施設や事業について市民に広報するほか、マスコミ各社と事業提携を図り、主催事業の告知を新聞、テレビ等を活用しPRする。

④芸術の森、コンサートホール、市民交流プラザとの連携による広報及び販売促進

チラシ配布、ポスターの掲出、各事業部「友の会」会員へのダイレクトメール送付・チケット優待などを継続し、相互の広報・販売促進に取り組む。

5 市民ギャラリー事業

①市民ギャラリー美術映画会

大画面による迫力ある映像を通じて多様で魅力的な美術作品を鑑賞する場および芸術情報を提供し、気軽にアートに触れる環境を創出する。1984年から毎年継続しており、恒例事業として広く市民に親しまれている。

期 日：年10回開催予定

会 場：展示室

②スプリングコンサート

札幌コンサートホールKitara所有のポジティブ・オルガンと、札幌を拠点に活躍するオルガニストによるコンサートを開催し、来館者への新たな楽しみを提供する。

期 日：令和5年4月5日(水)

会 場：第1展示室

③市民ギャラリー手づくり作品市場

美術・工芸・手芸など様々なジャンルのアート作品を発表・販売する場を、天候に左右されない屋内で提供。例年、多くの集客が見込める展覧会に合わせて開催しており、地域の街づくり、交流に寄与している。

期 日：令和5年5月20日(土)

会 場：1階ロビー

④カルチャーナイト2023

札幌市全域で公共施設や文化施設などを夜間開放して市民が地域の文化を楽しむ「カルチャーナイト」に参加し、市民ギャラリーならではの趣向を凝らして実施する。

期 日：令和5年7月21日(金)

会 場：動画共有サイトYouTube ほか

⑤市民ギャラリーワークショップ

市民ギャラリーで展覧会を主催する団体と協力し、子どもや初心者でも気軽に参加できる工芸等の講習会を開催するほか、ギャラリーにちなみ「お絵かき」をテーマとした独自のワークショップを実施し、子どもたちの参加を促進する。

期 日：陶芸体験教室 令和5年7月21日(金)、22日(土)

夏休みお絵かきワークショップ 令和5年7月30日(日)

七宝体験教室 令和5年8月5日(土)

冬休みお絵かきワークショップ 令和6年1月7日(日)

会 場：展示室

⑥市民ギャラリー子ども映画会

子どもたちがアートに興味を持つ契機となるような芸術性の高いアニメーションを、家族連れや子どもの参加しやすい夏期や春休み期間に上映する。また、子どもの書道作品を展示する展覧会に合わせ、ロビーでミニ上映会を開催する。

期 日：夏の子ども映画会 令和5年7月17日(月・祝)
春休み子ども映画会 令和6年3月30日(土)(予定)

会 場：展示室

※ロビーでのミニ上映会は令和5年12月24日(日)、26日(火)、27日(水)

⑦市民ギャラリーウインターコンサート

札幌市民芸術祭「新人音楽会」にて大賞や奨励賞などを受賞した若手アーティストの演奏により、美術作品に囲まれながら音楽を楽しむ機会を提供するとともに、市民と地元アーティストとの交流や生演奏の魅力などを幅広く市民に紹介する。

期 日：令和5年12月16日(土)

会 場：第1展示室

⑧書っ!パフォーマンス

新規

展示室の広々とした空間を存分に活用し、高文連石狩支部書道専門部推薦の高校書道部員による流行の音楽にのせて大人数で大型作品を書き上げる迫力のパフォーマンスを観覧したのち、部員の指導による書初め体験等を実施し、書道への興味と理解をより深める機会を提供する。

期 日：令和6年1月11日(木)(予定)

会 場：第1～3展示室

⑨高文連石狩支部美術・書道展

新規

学校教育と各種芸術団体の将来に貢献する事業として開催するとともに、展覧会期間中に高校生による市民向けワークショップを行い、美術・書道への興味と振興に寄与する。

期 日：令和5年8月8日(火)～13日(日)

会 場：全館

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑩札幌市中学校美術・書道展

学校教育に対する協力事業として、中学校での授業・部活動において制作した美術書道作品を展示し、美術書道教育の振興に寄与する。

期 日：令和5年11月14日(火)～19日(日)

会 場：第1～5展示室、展示ホール1～2

主 催：札幌市中学校文化連盟

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑪中央区東地区連合町内会コンサート

地域住民の交流とまちづくり活動の理解促進を目的に、地元町内会との連携事業として、親子で楽しめるコンサートを開催予定。

期 日：令和5年12月22日(金)(予定)

会 場：展示室

主 催：東地区連合町内会

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑫札幌圏大学生合同写真展

写真ライブラリー閉館(平成22年1月)後からの継続事業。写真文化の振興と普及のため、札幌近郊の各大学写真部による写真展を開催する。

期 日：調整中

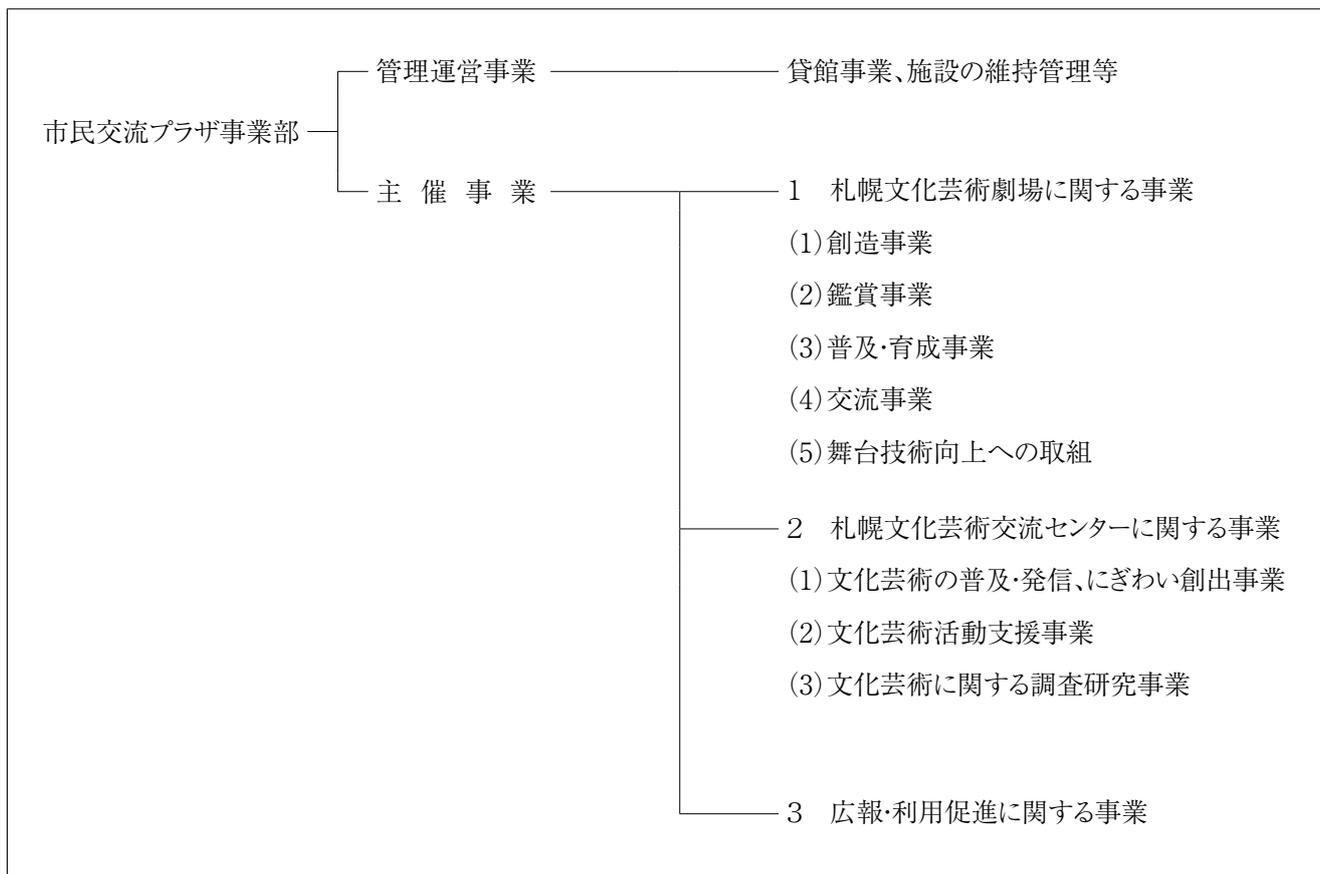
会 場：展示室

主 催：札幌圏大学生合同写真展EX

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

IV. 市民交流プラザ事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

		令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標	
利用 状 況	札幌文化芸術劇場	劇場 利用率	79.9%	87.6%	80.0%
		クリエイティブスタジオ 利用率	71.2%	85.7%	75.0%
		練習室等 利用率	59.7%	72.5%	60.0%
	札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等) 利用率		63.3%	76.2%	75.0%
	総来館者数(札幌市図書・情報館含む)		752,003人	1,126,821人	1,200,000人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和3年5月9日～7月11日、令和3年8月2日～9月30日は新規予約受付停止。

【参考】

令和元年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：56.5% 小ホール(500席未満)：57.3%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和2年度 公立文化施設の運営情報調査報告」)

3. 主催事業

1 札幌文化芸術劇場に関する事業

(1) 創造事業

① hitaruバレエプロジェクト「くるみ割り人形」

新規

地元のバレエ団体、実演芸術家などの協力を得て、hitaruを舞台とした新たなバレエ作品を創造・発信する「hitaruバレエプロジェクト」の第1回公演として「くるみ割り人形」を上演する。舞台美術、衣裳も自主製作し、レパートリーを持つ劇場を目指す。

期 日：令和5年12月9日(土)、10日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

演出振付：千田雅子(札幌舞踊会)

指 揮：富田実里

管弦楽：札幌交響楽団

演 目：「くるみ割り人形」(全幕)

② hitaruオペラプロジェクト(準備)

地元のオペラ団体、教育機関、実演芸術家などの協力を得て、2年に1回のペースでhitaruのオペラ公演を創造・発信していく「hitaruオペラプロジェクト」第2回の準備を行う。本公演は令和6年度に開催する。

期 日：通年

③ Creative Art Mix Vol.2～Classical Jewels～

様々な分野の融合による相乗効果で舞台芸術鑑賞者の裾野を広げることを目的に、クラシック等の名曲に斬新なアレンジを行った新感覚の音楽と、舞踏、バレエ、ストリートダンス等を融合したステージを創造・発表する。出演者やスタッフは地元から起用し、札幌独自の新しい表現を追求する。

期 日：令和6年3月9日(土)、10日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

出 演：振付・ダンス：郷翠、西野留以、鈴木明倫、髪立ツカサ ほか

編曲・サクソ：小野健悟、編曲・DJ：DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST ほか

(2) 鑑賞事業

① 新国立劇場オペラ リヒャルト・シュトラウス「サロメ」

新規

北海道初の多面舞台を誇る当劇場から質の高いオペラ作品の鑑賞機会を提供するため、新国立劇場オペラ「サロメ」を上演する。

期 日：令和5年6月11日(日)、13日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場

演 出：アウグスト・エファーディング

指 揮：コンスタンティン・トリックス

管弦楽：札幌交響楽団

演 目：リヒャルト・シュトラウス 歌劇「サロメ」(全1幕／原語上演／日本語字幕付)

②東京二期会オペラ ヴェルディ「ドン・カルロ」全5幕《新制作》

新規

市民交流プラザ開館5周年を記念して、シュトゥットガルト州立歌劇場・札幌文化芸術劇場 hitaru・東京二期会による提携公演としてオペラ「ドン・カルロ」を開催する。

期 日：令和5年10月7日(土)、8日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

演 出：ロッテ・デ・ベア

指 揮：アンドレア・バッティストーニ

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

演 目：ヴェルディ 歌劇「ドン・カルロ」(全5幕／原語上演／日本語字幕付)

主 催：公益財団法人東京二期会

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

③hitaruのひととき

市内中心部で地下鉄駅直結という優れた立地条件を活用するとともに、料金設定を抑え、より親しみやすい選曲を多様なテーマ・キャスティングにより実施する公演事業。これまで実演芸術に親しむ機会が少なかった市民にも気軽に鑑賞していただき、幅広い市民に札幌文化芸術劇場 hitaruの魅力を知っていただくことを目的とする。

1) Classic & JAZZ SPECIAL NIGHT CONCERT

ブルーノート東京との共同プロデュース事業として、国際的に活躍しているヴァイオリニスト木嶋真優とジャズピアニスト大林武司のコラボレーションコンサートを開催する。

期 日：令和5年7月8日(土)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：木嶋真優(ヴァイオリン)、大林武司(ピアノ)

2) Pat Metheny Concert in Sapporo

世界的な評価を得るギタリスト、パット・メセニーによるジャズコンサートを開催する。

期 日：令和5年10月23日(月)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：パット・メセニー(ギター) ほか

3)ひろしま神楽

広島で活躍する神楽団を招へいし、勇壮で華麗な舞、鮮やかな衣装、豊かな表情を生み出す神楽面など、神話の時代から受け継がれる神楽の魅力を広く紹介する。

期 日：令和5年10月29日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：羽佐竹神楽団

④共催事業の誘致

1)舞台「キングダム」

新規

累計発行部数9,200万部突破、アニメ化や実写映画化もされた人気コミック「キングダム」初の舞台化。主人公・信役に三浦宏規、高野 洸(Wキャスト)、秦王・嬴政役に小関裕太、牧島 輝(Wキャスト)を迎え、全6日間、計9公演上演予定。また、札幌がツアー最終地となるため、大千穂楽公演の配信も予定している。

期 日：令和5年5月6日(土)～11日(木)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：株式会社北海道新聞社、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

2) 第四回さっぽろ落語まつり

開館より継続して開催しているさっぽろ落語まつりの第4回公演。東西人気落語家が札幌に集結し、札幌文化芸術劇場 hitaruと道新ホールの2会場で開催する。

期 日：令和5年5月26日(金)～28日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場、道新ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社 ほか

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

協 力：オフィスまめかな

3) ミュージカル『クレイジー・フォー・ユー』

新規

1993年に日本初上陸して以降、各地で好評を博してきた劇団四季の代表的レパトリーを上演する。

期 日：令和5年10月26日(木)、27日(金)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：四季株式会社(劇団四季) ほか

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

4) 2023 HTB ジルベスターコンサート

1997年にスタートした歴史あるコンサートの第26回公演。

期 日：令和5年12月31日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：北海道テレビ放送株式会社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

5) 大型舞台公演(調整中)

新規

大型舞台公演を開催する。演目については調整中。

期 日：令和6年3月

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：株式会社道新文化事業社 ほか

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

(3) 普及・育成事業

① 札幌大谷大学アートプログラム

札幌大谷大学学長の千葉潤教授による、hitaru主催事業の見どころ・聴きどころをわかりやすく解説するレクチャー事業。令和5年度はバレエ「くるみ割り人形」、グランドオペラ公演の2事業について開催する予定。

期 日：調整中

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：千葉潤(札幌大谷大学 学長) ほか

② 青少年向けバレエ鑑賞事業

芸術を通して豊かな感性を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学校2年生を対象にした、青少年向けバレエ鑑賞事業を引き続き実施。国内外で高い評価を得てきた東京バレエ団による、解説付きプログラムを上演する。また併せて配信鑑賞も実施し、来館できなかった生徒に向けて映像での鑑賞機会を提供する。

期 日：令和5年9月25日(月) ※配信での鑑賞は令和5年10月以降で調整中。

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：東京バレエ団

演 目：ドン・キホーテより抜粋、ボレロ(モーリス・ベジャール振付)

③クリエイティブスタジオ事業

市内文化芸術団体などと連携し、音楽・舞踊・演劇など様々なジャンルの実演芸術の創造と鑑賞の機会を広く市民に提供し、創造的な文化芸術活動の普及と活性化を促進する。

1) 青年団「ソウル市民」

新規

演劇事業については開館以降、現代演劇を中心に実施しており、令和5年度は現代演劇を代表する劇作家・演出家の平田オリザ作・演出による青年団「ソウル市民」を上演する。各地で好評を博した青年団のレパトリー作品で、札幌では初上演となる。また、関連イベントとして平田オリザによるプレトークも併せて実施する。

期 日：令和5年5月13日(土)、14日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

演 出：平田オリザ

2) 範宙遊泳「バナナの花は食べられる」

新規

様々な分野の実演芸術を紹介し、多様な社会的状況や道民・市民のニーズに対応するため、注目の劇作家山本卓卓^{すくろく}による範宙遊泳「バナナの花は食べられる」を、北海道文化財団との共催で上演する。

期 日：令和5年9月22日(金)、23日(土)

会 場：クリエイティブスタジオ

演 出：山本卓卓^{すくろく}

主 催：公益財団法人北海道文化財団、札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

3) シネマシリーズ6、7

映画監督を招き表現者の視点での鑑賞や批評の重要性を知ることにより、映画鑑賞者の知見向上を図ることを目的として令和2年度から実施している当シリーズを継続。本の映画界を率いる監督を招き、影響を受けた作品の上映と講演を令和5年度は2回実施する。

①期 日：令和5年11月25日(土)

会 場：クリエイティブスタジオ

出 演：岨手由貴子

②期 日：調整中

会 場：クリエイティブスタジオ

出 演：調整中

(4) 交流事業

① プラザフェスティバル

様々な客層が足を運びやすい環境の提供と多様な交流を促進することを目的として、開館記念日である10月7日に近接する週末に実施する。オペラ「ドン・カルロ」のほか、レストラン・カフェを運営するモリヒコとも連携し、全館を挙げて市民を迎えるプログラムを実施する。

期 日：令和5年10月6日(金)～9日(月・祝)

会 場：館内各所

(5) 舞台技術向上への取組

① 第4回札幌文化芸術劇場hitaru舞台技術セミナー

札幌及び北海道の中核劇場として、市内道内の舞台技術者の技能向上や知識・経験の共有を目的に広く参加を呼びかけ、舞台技術をテーマとしたセミナーを開催する。

期 日：令和6年1月30日(火)、31日(水)

会 場：札幌文化芸術劇場

②技術協力支援

高度な舞台機構や音響・照明設備を活用できる本劇場の舞台技術スタッフが他の劇場、音楽堂等及び実演芸術団体等と連携・協力し、地元の文化芸術の水準を高めるための取組として、舞台監督等の技術協力支援を行う。

期 日：通年

会 場：札幌市内及び道内市町村

2 札幌文化芸術交流センターに関する事業

(1)文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

①SCARTSクリエイションプロジェクト(リサーチ)

SCARTSの主幹事業として、アーティストやクリエイターなど外部の共同企画者を迎え、今日取り組むべき主題を設定し、クリエイションを行う。令和5年度は令和6年度の実施に向けてリサーチを継続する。

期 日：通年

②SCARTSメディアアーツシリーズ

ユネスコ創造都市ネットワーク・メディアアーツ分野の加盟都市として、メディアアートを軸とした事業展開による関心層の発掘・育成を目指すとともに、専門機関との連携により、領域横断的なR&D(研究開発)に取り組む。

1)SCARTS × CoSTEP アート&サイエンスワークショップ(仮称)

北海道大学CoSTEPとの協働により、次世代を担う若年層を対象としたワークショップを実施する。今日のアートと密接な関わりをもつテクノロジーやサイエンスを切り口とし、メディアアートを含む多様な表現や創造的活動への関心を喚起することを目的に、アーティストや研究者の知見に触れながら創作活動を行う。

期 日：調整中

会 場：SCARTSスタジオ ほか

2)SCARTS × SIAFラボ 冬の展覧会(仮称)

SIAFラボと協働しR&D(研究開発)に基づく展覧会を実施。雪国・札幌の先進的なアートセンターを特徴づけるプロジェクトとして、冬の雪や氷、除雪といった寒冷地の気候や都市機能に着目し、これまで蓄積してきた除排雪にまつわるデータなどを活用した展示によって、「札幌の冬」の魅力や価値を発信し、冬のにぎわい創出につなげる。

期 日：令和6年1月20日(土)～2月25日(日)

会 場：調整中

③SCARTS連携事業

これまで市内各所で行われてきた、文化芸術とも関連しうる他分野(経済産業・福祉・教育など)におけるさまざまな取組や、連携協定を締結する団体、財団内の他事業部、市民交流プラザ内の他施設などと連携して事業を行い、文化芸術がもつ効用をより効果的に市内全域に波及させることを目的とした事業。令和5年度は、財団が連携協定を結ぶ2大学のほか、札幌文化団体協議会、NoMaps実行委員会、さっぽろアーステージ実行委員会などと実施予定。

1)大学連携コンサート

次世代を担う若手音楽家に発表の機会を提供し、札幌の音楽文化の発展に資することを目的に、財団が連携協定を結ぶ2大学と連携してコンサートを実施する。

ア 大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校

期 日：令和5年8月

会 場：SCARTSコート

出 演：北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツ文化学科音楽文化専攻 学生

イ 大学連携コンサート 札幌大谷大学

期 日：調整中

会 場：SCARTSコート

出 演：札幌大谷大学 芸術学部音楽学科 学生

④SCARTSパブリックリレーションズ

SCARTSを身近な存在として認知してもらうことを目指し、SCARTSウェブやSNS、SCARTSレポートなどの様々な媒体を活用して情報発信していく。西2丁目地下歩道における映像制作プロジェクトについては作家への制作委嘱を終了し、市民交流プラザやSCARTSをPRするための機能としての展開を検討する。また、プラザフェスティバルにおけるにぎわい創出のためのイベントも企画していく。

1) SCARTSアニュアルレポート

SCARTSの活動を記録し、広く公開することで、SCARTSの活動を周知し、市民の施設利用ニーズなどの掘り起こしにつなげることを目的に記録集を発行する。従来の紙媒体から電子媒体へチェンジする。

期 日：通年

2) 西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

市民が文化芸術に親しむ入口として、西2丁目地下歩道にて映像作品を公開する。映像制作集団「空族」の作品の新規公開に伴った上映&トークのイベントを実施する。

ア 西2丁目地下歩道映像上映

さっぽろ地下街オーロラタウンと札幌市民交流プラザをつなぐ西2丁目地下歩道をスクリーンに、平成30年度から令和4年度の間に制作された6作品の上映を行う。

期 日：通年

会 場：西2丁目地下歩道

上映作品：スタジオロッカ『UNDER UNIVERSE』、大木裕之『トシ シ』、野口里佳『虫・木の葉・鳥の声』、アピチャップン・ウィーラセタクン『憧れの地』、小田香『Underground』、空族『イラ・フォルモサ』

イ 「空族」作品スクリーン上映&トーク

令和4年度の西2丁目地下歩道映像制作プロジェクトとして完成した「空族」の新作『イラ・フォルモサ』をSCARTSコートの特設スクリーンで上映する。併せて、富田克也監督らによるトークイベントを行う。

期 日：(上映)令和5年6月8日(木)～13日(火)、(トーク)令和5年6月10日(土)

会 場：SCARTSコート

3) プラザフェスティバル(再掲)

市民交流プラザの開館を記念し、にぎわい創出のためのイベントを実施する。SCARTSでは、毎年恒例のプラザ・マルシェに加え、シンポジウム、関連イベントなども開催し、館全体の盛り上がりを創出する。

期 日：令和5年10月6日(金)～9日(月・祝)

会 場：館内各所

⑤SIAF2024連携事業(仮称)

新規

令和6年1月から「LAST SNOW」をテーマに開催される札幌国際芸術祭(SIAF)の会場のひとつとして、人と場所と情報、物事が交流するアートセンターとしてのプログラムを実施する。

期 日：令和6年1月20日(土)～2月25日(日)

会 場：調整中

(2)文化芸術活動支援事業・調査研究事業

①SCARTSサポート事業

インフォメーションカウンターや相談サービス、オンラインでの情報発信、貸館サポート、ラーニングプログラム、企画公募事業など、文化芸術活動を支える事業を引き続き実施する。なお、当事業のひとつとして、国や他都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査や研究を行い、文化芸術活動発展への寄与につなげる。

1)SCARTS相談サービス

アーティストや文化芸術団体を支援し、市内の文化芸術活動の活性化や質の向上に資することを目的に、アーティストや文化芸術団体からの相談(活動場所、広報手段、助成金など)に対し、情報提供やアドバイスをを行う。

期 日：通年

2)SCARTSラーニングプログラム

文化芸術活動に関わる方を対象に、活動に役立つ実践的な知識やスキルを学ぶ講座を開催するほか、各事業に紐づくレクチャーやワークショップなどを含めて「ラーニングプログラム」と総称し、市民と共に学ぶ場を創出する。特に令和5年度は、開館5周年としてふさわしいプログラムを企画する。

期 日：調整中

会 場：SCARTSコート ほか

3)企画公募事業

札幌の文化芸術活動を支え、創造的で活気あふれるまちづくりを目指し、公募により選定されたさまざまな文化芸術団体やアーティストとSCARTSが共同で事業を実施する。施設・備品の無償提供や技術的なバックアップ、広報支援などで活動をサポートし、SCARTS施設の多様な活用方法を示すとともに、文化芸術の新たな関心層の創出を図る。

ア 演劇「恋の激情・火學お七」(原作『火學お七』岸田理生)+演劇ワークショップ(仮称)

現代日本演劇において重要な劇作家のひとりである岸田理生の没後20年記念として、東京で開催される「岸田理生アバンギャルドフェスティバル」を札幌でも実施する。演出家の鈴木忠志が考案した「スズキメソッド」による演劇初心者を対象としたワークショップを併せて行い、ワークショップ参加者が公演にも参加する。

期 日：令和5年7月

会 場：SCARTSコート

主 催：劇団風蝕異人街、札幌文化芸術交流センターSCARTS(札幌市芸術文化財団)

イ シロとメロの暮らし展 未来の地球で、現代を再生する -Playback machine in the future- (仮称)
造形作家こんのあきひとと画家あけたらしろめのユニット「ランドリーズ」が、500年後の地球で暮らす双子のシロとメロの生活を中心に、変質した地球環境を描くSF絵画を中心に、3つの「再生」をテーマに生活の中にひそむ不変の価値を再発見するインスタレーションの展示を行う。

期 日：令和5年7月

会 場：SCARTSスタジオ

主 催：ランドリーズ(造形作家こんのあきひと(こんの工作室)／画家あけたらしろめ)、札幌文化芸術交流センターSCARTS(札幌市芸術文化財団)

ウ 崑久一本店創業百周年記念「崑久一の100年～札幌とアートと家族の物語」展(仮称)

札幌の仕出し料理店「崑久一本店」の100年を紐解くとともに、大正・昭和・平成・令和に渡る札幌の地域の歩みを、ある家族のファミリー・ヒストリーとアートを通じた視点から俯瞰し、過去・現在から未来へとつなぐ展覧会を実施する。

期 日：令和5年8月～9月

会 場：SCARTSコート

主 催：伊藤千織デザイン事務所／崑久一本店100周年展実行委員会、札幌文化芸術交流センターSCARTS(札幌市芸術文化財団)

エ 横須賀令子アニメーション個展「波と風のもののけたち」(仮称)

1980年頃の8ミリフィルム時代から2022年まで、約40年にわたり制作してきた横須賀令子の墨絵短編アニメーションによる映像個展を開催する。

期 日：令和5年9月

会 場：SCARTSスタジオ

主 催：横須賀令子、札幌文化芸術交流センターSCARTS(札幌市芸術文化財団)

4) 札幌文化芸術交流センターSCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

令和3年度からSCARTSで実施している「札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業」を継続して実施していく。令和5年度採択活動に対する助成金の交付のほか、採択活動への視察や、活動報告会を実施する。また、令和6年度に実施する活動の募集・選考・採択を行う。

期 日：通年

3 広報・利用促進に関する事業

(1) 広報

① 広報誌作成と事業広報との連携強化

圏域住民の市民交流プラザへの理解と支持を得るため、広報誌「wave times+(ウェーブタイムプラス)」を発行し、市民交流プラザの取り組みを広く周知する。また、令和5年度から新たにWEBマガジン版も作成。札幌市図書・情報館とも連携しながら、主催事業等について市民交流プラザを一体的に広報する。

期 日：通年

② ホームページ、SNSなどを活用した広報

ホームページ、SNSなどを通じて、即時性のあるトピック、広報誌やチラシだけでは伝わりづらい公演や事業の詳細な情報の発信を行う。また、外部業者との連携も図りながら公演などのチケット販売サイトへの誘導を行う。

期 日：通年

③メディア対応とプレスリリース

市民交流プラザについての取材依頼、パブリシティ(無料)掲載などに対応し市民交流プラザの認知度を高めるとともに、市民交流プラザ全体で行われる事業や共催事業などのプレスリリースを行い周知やチケット販売促進につなげる。

期 日：通年

④その他の広報制作物

市民交流プラザ周辺の賑わい創出とメンバーズ会員への特典として「創成おさんぽMAP」や「ホテルインフォメーション」、控室や練習室などの貸室利用促進のための広報物などを作成する。

期 日：通年

(2) 利用促進

①施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、地元興業主との情報交換を密にするほか、「ご存知ですか?プラザの貸室いろいろ」を作成・配布して会議や練習での利用を促す。また、これまで札幌での開催が少なかった魅力ある公演の誘致に向けた取り組みを進める。

期 日：通年

②会員制度の運営

会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」のさらなる周知を図り、現会員の継続と新規会員の獲得に努める。また、会員へのサービス提供として、主催公演の先行発売をはじめ、主催公演のリハーサルなどを見学することができるイベントなどの実施、近隣ホテルや飲食店での優待など、さらなる充実を図り、安定的な制度運営を行う。

期 日：通年

③協賛制度の運営

「札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー」制度のさらなる周知を進め、既存の法人・個人スポンサーの継続と、新規スポンサーの獲得に努める。

期 日：通年

2 芸術文化を推進するための付帯事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 駐車場の管理運営

札幌市郊外にある芸術の森では、施設利用者の便宜を図るため、駐車場の管理運営業務を行う。

利用状況	芸術の森		令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
	駐車場	利用台数	32,575台	58,000台	60,000台

2 各種の活動及び発表の場の提供

教育文化会館と市民交流プラザは、財団主催事業や芸術文化のための利用等公益目的事業に関する利用に供する以外にも、学術会議や講演会のための利用等多様な活動の場としても施設の提供を行っていく。(ただし、教育文化会館は、令和5年1月1日から令和6年9月30日まで、大規模改修工事のため休館となります。)

3 その他公益目的事業の推進に資する事業

レストランの委託経営やグッズの販売、自動販売機の設置により施設利用者へのサービスの向上に努める。